ご挨拶

✧ 「私家版ラサーリアン魂」(同窓会会長から) 14 期 森 俊雅
✧ 函館ラ・サール学園 理事長から Br. ロドリゴ・テレビニョ
✧ 函館ラ・サール学園 校長から 齋藤 瑞木
✧ 「ラ・サールジャパンの創立者」 Br. フェルミン・マルチネス
✧ 前函館ラ・サール学園同窓会会長から 4 期 浜出 雄一

函館ラ・サール学園 温故知新

✧ 「パルメニー修道院の歴史と今」(講演記録) Br. ランベール (2017. 10. 6)
✧ 「生涯を通して心の底から尊敬した、恩師村元直人先生と、その奥様」(寄稿) 6 期 伊藤 恒敏

函館ラ・サール学園 OB から

✧ 「北海道・札幌冬季オリンピック・パラリンピック招致の行方」 11 期 二木 一重
✧ 「地域との絆を深めながら進めた会社の復活と新しい価値づくり」(講演記録) 20 期 野村 文吾
✧ 「インターネットを、怖がらずに使いこなす為の豆知識」 11 期 岩渕 雅俊

支部だより

この 3 年、各支部はどう乗り越えたかを中心に・・・・・・

敬称を略させていただきましたこと、ご了承ください。

私家版ラサーリアン魂 － 同窓会長より

14 期 森　俊雅

ご存知の通り、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、2023 年 5 月 8 日から季節性インフルエンザ等と同じ「5 類」に移行しました。

今後、法律に基づいた外出自粛の要請等はなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられる他、幅広い医療機関での患者の受け入れを目指すなど、3 年余り続く国のコロナ対策は大きな節目を迎えました。

2020 年 1 月の出版を最後に休止していた同窓会誌「日吉ヶ丘」も、Vol.19-20 合併号としてまもなく発刊されることは大きな喜びです。まずは、コロナ禍中の同窓会運営にご尽力された浜出前会長以下同窓会ご関係者に、この場を借りて御礼申し上げます。

申し遅れましたが、私は、浜出前会長の後を受け 2022 年 12 月より同窓会長を仰せつかった 14 期の森俊雅（もりとしまさ）と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。高校を卒業した後、1981 年に大学を卒業、航空会社に総合職事務系として入社し 29 年超勤めました。その後、8 年間に亘り企業の経営者として上場準備を整えて退任、一般社団法人の運営責任者を経て、現在は自分が所有する会社を含め、複数の会社の非常勤役員・顧問として働きつつ、大学院の教員も務めています。

さて、高校時代に、The Giving Tree という物語に触れる機会がありました。本稿を書くにあたり、読み返してみました。“Once there was a tree…and she loved a little boy. And every day the boy would come, and he would gather her leaves, and make them into crowns and play king of the forest.” に始まる物語です。

少年は、その木に登ったり、リンゴの実を食べたり、かくれんぼをしたりして遊ぶ。少年はその木を愛していて、木も幸せ。

やがて少年は大きくなり、木に向かってお金が欲しいと言うと、木はリンゴの実を売ればいいと言う。さらに年が経ち、大人になった少年が家を欲しいと言うと、枝を切って使えばいいと言う。さらに年が経ち、おじさんになった少年がボートを作りたいといえば、幹を切って作りなさいとその木は言う。

切り株だけになった木は、それでも幸せ。年取った少年が切り株のところにやってくる。もう何もあげられるものはないと木は言う。いやもう何もいらないと少年。ただ静かに座って休みたいだけさと言うと、切り株にお座りなさいと木が言う。年とった少年が座り、その木は幸せに思う。

大学に入ると、for others, with others の精神に基づいた人間学の教育を受ける機会がありましたし、三大宗教について学べる機会もありました。大学卒業後の就職先である航空会社には、2010 年 1 月に会社更生法が適用され、2 月には、高名な経営者であった稲盛さんがトップに就任されました。

稲盛さんは、「思念は業をつくる」ということをおっしゃっていました。「人間はある程度成功すると傲慢になってしまい、独りよがりな、自分だけよければいいという利己心が出て来るようになってしまう。しかしこの利己的な心は、相手はどうなっても構わないという思いを生み、決して良い結果は招かない。我々は相手を思いやる優しい心が必要である。」という意味です。

いずれの経験も私の中では繋がっていますし、ラ・サール高校時代に経験した様々なことがその源にあります。仕事の関係で世界の主だった国や都市を訪れたり住んだりする機会に恵まれた私ですが、「与えることの崇高さ」という価値観は万国共通だと感じています。

函館に居た頃は分からなかったことですが、同窓会組織も世界でネットワーク化されつつあります。自分を含めてですが、同窓会では会った瞬間に認識出来ない友人が増えて来ましたが、すぐに打ち解けられるのは、出会った頃に瞬間移動できるからという理由だけでなく、ラサーリアン魂という共通の価値観が存在するからであり、その一つが「与えることの崇高さ」ではないでしょうか？

齢を重ねるにつけ、人が死ぬとき後に残るのはそれまで集めてきたものではなく「与えてきたもの」だけが残る、という思いが強くなりました。

私に、人間形成の基盤教育を授けてくれた学校、そして同窓会が、さらに発展するよう努めて参りますので、引き続きご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

函館ラ・サール学園 理事長から
（同窓会 HP にお寄せいただきました）

Br. ロドリゴ・テレビニョ

函館ラ・サール学園同窓会の皆様

私たちは、多様な職業（使命）を持ち、多様な状況に置かれた全世界のラサーリアンファミリーの一員です。より兄弟的な関係がある世界のために「パン種」が与えられ、困っている人々の中に神と出会い、正義を促進するために送り出されています。

2022 年 5 月 1 日から 22 日まで、ローマの世界ラ・サール会本部で第 46 回総会が行われ、今後の 7 年間の全世界ラサーリアンファミリーの方向性が定められました。ラサーリアンビジョンの 5 つの理念的な柱、すなわち、①人間的キリスト教的教育による奉仕、②共同体の証、③貧者への優先的奉仕、④連帯、⑤FSC（Faith 信仰心，Service 奉仕心，Community 共同体）は従前から変わっていませんが、新たな現実に適応するための方向性を定めました。

絶え間なく急速に変化する世界に対応できるように、ラサーリアンとして現在のニーズに創造的かつ大胆に対応することが必要です。ラサーリアンミッション（伝道）の修道士とレイパートナー（信徒）は、奉仕活動やラサーリアン教育において共通の取組みを実践しています。それは単なる仕事はなく、「使命における共同責任」でもあります。これは、他の人たちと協力し、自分の職業（使命）を発展させることによって、人として成長し、豊かに生きることへの「招待状」です。

第 46 回総会の報告書は、講演者の言葉を引用し、このように記しています。

「私達には、斬新な思想、偉大な魂、アイデアの探究者、型破りな考え方を恐れず、物事の新しいやり方を実験し、新たに生命の種を蒔き、人類が生き残るだけでなく繁栄出来るよう支援する人が必要です。」

私達も、ラサーリアンファミリーとして前に向けて、聖ラ・サールの精神に従って、一人一人の宗教心を大事にするよう、幅広い大きな人間的な和を作れるよう、そして特に困っている兄弟姉妹のために奉仕するようなラサーリアンになりますように祈っています。

函館ラ・サール中学校・高等学校長から
（同窓会 HP にお寄せいただきました）

校長 齋藤 瑞木

同窓生の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。私は、この 4 月から校長の任を拝命いたしました齋藤瑞木（さいとうみずき）と申します。この場を借りて、あらためてごあいさつ申し上げます。

私は今に至るまで教頭を 3 年、副校長を 7 年務めてまいりましたが、いうまでもなく本校の校長は歴代ラ・サール会のブラザーが務めておりましたので、私自身がその任に就くことはよもやあるまいと考えておりました。

しかし、世界のラ・サール会の全体的な流れとして、それぞれの教育機関の長をブラザーから一般教員に移行していく方針が示されているとのことで、本校もその流れに抗えず、事ここに至った次第です。

同窓生の皆様の中には、校長が日本人になったことに対して、驚きやとまどいの気持ちを持たれた方も多いかと存じますが、正直私自身がいちばんとまどっているといっても過言ではありませんし、3 か月が経った現在でもいまだになかなか慣れません。

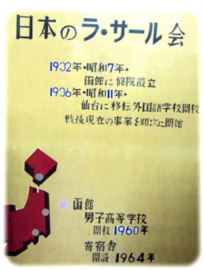
ただ、私の責務として最も大切なことは、聖ラ・サールを端緒とするラ・サール・スピリットを堅持していくことと考えております。

日本人校長になったことで函館ラ・サールが大きく変わってしまうのではないかとの危惧を皆様もお持ちになっておられるかもしれませんが、どんなに時代が変わろうとも、またシステムの一部が時代に合わせて変更されようとも、本校の根幹であるラ・サール・スピリットを変えることは決してあってはならないことです。

私は縁あって 27 年前に本校に採用されましたが、本校で社会人として育てられていく中で、聖ラ・サールの教育理念は普遍的な価値を持つものであることを理解し、それゆえ深く共感を抱くようになりました。

特に、現在の国内、また世界の情勢は、戦争や未知の感染症の拡大への恐怖や、不況・物価高からくる閉塞感などを抱えて先行きがきわめて不透明な状況といえるでしょう。そして、それを起因とする分断や敵対の精神性や不寛容な態度の高まりも加速しているように感じます。

だからこそ、「ラ・サールの教育の根幹は、お互いの間にはびこる壁を壊し、そのうえで立場の違う人々や異なる価値観を持つ者どうしを結びつけることにある」（2016 年に当時のラ・サール会の総長ロベルト・シーラー氏が本校で語った言葉）という考え方は、より輝きを放つものと確信しております。



私にできることは限りがあります。ただ、この点だけは忘れてはならないこととして日々業務にあたることを皆様にお約束いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、どうぞお体を自愛くださり、ますますご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

「ラ・サールジャパンの創立者」（2022 年 3 月記）

フェルミン・マルチネス

皆さんはラ・サールジャパンと言う言葉を聞いたことがないでしょう。

卒業生の皆さんはラサーリアンとして自分の母校との絆によって、自分のアイデンティティーが強いと思います。

しかし年を重ねていくと、ラサーリアンとしての視野が徐々に広がるので、母校だけではなくラ・サール学園の卒業生と出会って「友」になり、兄弟のような人間同士と言う感覚が沸いてきます。そして自分の先輩や後輩と出会う度に、ラ・サールファミリーは素晴らしい繋がりだと感じられるはずです。

その時ラ・サールジャパンの存在というものを実感できることでしょう。これは哲学的な思考ではないと考えています。

ご存知の方も多いと思いますが、10 月 22 日は我らにとって大切な日であり、今から 90 年前にローラン（35）、リゴリ（45）、マルセル（37）とダニエル（34）らカナダ・ラ・サール会修道士たちが函館港に到着された日です。

4 人ともモントリオールを離れる前に周りの人々や家族に、自分たちの目的地の地名をどのように伝えていたでしょうか。

確かに 1930 年のデータを見ると、当時の函館の人口は 190,265 人であり、日本国内で人口第 10 位の都市でした。しかし国際的にはどのぐらい有名な都市だったでしょう。おそらくブラザーたちは“ジャポン”に遣わされていると伝えていたに違いありません。その方が彼らにとって、他の修道士、親戚、友人にも伝えやすい目的地の名前だったでしょう。我らの開拓者はラ・サールジャパン創立のために派遣されたと思われます。来日し横浜から函館への移動中にはっきりとラ・サール函館を開校することが、自分の使命であるという気持ちに変わっていったに違いありません。

現在、ラサーリアンネットワークにおいてラ・サールジャパンは国際的に知られています。実は 2010 年から日本と他の東南アジア 5 ヶ国は繋がっており、Lasallian East Asia District（LEAD）という管区に入っています。6 つの Sectors（地区）からなる東南アジアラサリアン管区（LEAD）ラ・サール修道会の組織の内に存在しています。

ラ・サールジャパンの 90 年周年創立記念として、今年は特別なお祝いを予定しておりませんが、ここで 2 つの大切な過去と未来の事業について述べておきたいと思います。1 つ目はちょうど 10 年前に前同窓会会長の齊藤裕志氏の強い希望でラ・サール修道会 80 年周年来日記念として行われた事業です。

多くの方の協力をいただき、我らの 4 人のラ・サールジャパン創立者が眠っているカナダ・モントリオールのお墓の土を取り寄せ、函館カトリック墓地にあるラ・サール修道会墓にご遺骨の代わりとして

納骨を行いました。2012 年 10 月 22 に間に合うようにこの素晴らしい行事を行う事ができました。

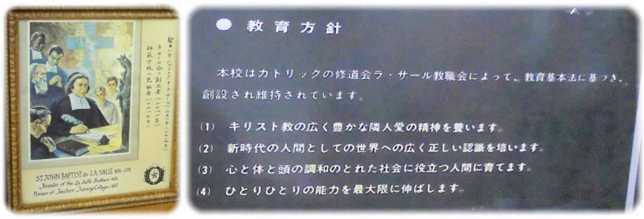
10 年経った今、齊藤前同窓会会長にはとても感謝しております。函館市の火葬場手前 400m あたりに函館カトリック墓地の入口があります。お墓参りを希望される方がいらっしゃいましたらご自由に参拝して下さい。

2 つ目のイベントは我々のこれからの課題です。2032 年 10 月 22 日（金）はラ•サール修道会 100 周年来日記念になります。現在 30,40,50 代の卒業生は責任者として前頭になると期待しております。10 年後、私が生きているとすれば 83 才で完璧に最高齢者であるので

”邪魔“にならないように今から考えています。新しいアイディア、新しいやり方、新しい意味が込められたイベントになるように願っています。そして、このイベントには皆さんの無限の可能性が秘められていることでしょう。

この度は、我が校の卒業生の雑誌のために一言を書かせていただきありがとうございました。OB の皆さん、ご自分の健康をきちんと管理し、お互いにサポートし合い、ご家族を大切にして、さらに社会のために貢献して、そして後輩のために模範と力になるように祈っています。

ラ•サールジャパン:永遠一心（UNIVISA MANENT）



前同窓会会長から
（2022 年 4 月にお寄せいただきました）

4 期 浜出 雄一

2020 年 1 月の同窓会誌発行から 2 年が経ち、この間世の中がコロナ禍により大きく変わり、現在に至っても、そのコロナの感染が収まる兆しがみえません。このコロナ禍に大変なご苦労をされておられる同窓会員の皆様方にエールをお送りしたいと思います。コロナ禍で本同窓会の会議もリモートで行っています。

コロナ禍が収束し、直接顔を見て会議できれば嬉しい限りです。

昨年開催されました、東京オリンピック 2020 に本校 52 期生の金井大旺選手（2014 年 3 月卒業）が、8 月 4 日（水）に国立競技場でおこなわれた陸上競技の男子 110 メートル ハードルの準決勝第 2 組に出場。当校出身の初めてのオリンピアンとして多くの同窓生の声援を受けましたが、健闘空しく入賞を逃しました。

余談ですが、金井選手のコーチは私の同期（4 期）の筑波大学名誉教授の宮下憲さんで、思えば 2、3 年前に東京にて開催された同窓会のパーティーの席で、金井選手が出場する陸上世界大会のカンパをお願いして回っていたのを記憶しています。

世界陸上では予選で敗退したものの、くじけずに練習に励み、その後の日本陸上競技選手権大会決勝で 2 位となり、東京オリンピック 2020 の切符を掴むことができました。

東京オリンピック 2020 では、途中転倒するも、倒れてもなお立ち上がり必死にゴールした不屈の闘志を見るにつけ、最後まで諦めないで自分の意志を貫くという思いは、これからの人生が素晴らしいものになると確信しています。本当に感動しました。

東京オリンピック 2020 に活躍した金井選手の新聞記事が学園の玄関に掲示されたと、お聞きしました。これを読んだ在校生に勇気と誇りを与えたことは言うまでもありません。

同窓生として金井選手を誇りに思うとともに、金井選手、金井選手を支えた宮下さんのご活躍をお祈りいたします。

2015 年ノーベル生理学•医学賞を受賞した北里大学特別栄誉教授大村智博士から、コロナ感染症に関した寄稿文をご紹介いたします。ご参考になれば幸いです。

「全ての人がこの予防医学の勉強をすることは、大変ですが、目下毎日のようにテレビ等で報道されて三密（密閉空間）、（密集場所）、（密接場面）を避けることから始まり、マスクの着用や手洗い、うがいをする、そして目鼻を洗うなどの励行に心掛けることがご自身をコロナウイルスの感染から防ぐだけでなく、他の人にも移さないことができます。

現在、科学の進歩に伴い、いわゆる抗菌グッズが売られております。これを使うと、衛生的であると言われておりますが、大事なことはそれだけに頼らず、従来からの衛生的に保つ基本をしっかり行うことです。

最も大事なことは手を洗う、うがいをする、眼、鼻、口を洗うことの励行であると思います。鼻を洗うというと、鼻が痛いと思う人も多いと思いますが、私は市販されている二リットルの飲料水に食塩を少々（水 1 リットルに食塩を 8 グラム）入れて洗うと、鼻は痛くありません。

ワクチンの開発や抗ウイルス薬の開発が進んでおり、間もなく使われるものも出てくることは間違いありません。これらに期待しながら、日常生活を送りましょう。」

PCR 検査にあたって鼻の粘液を採取することから、鼻洗いは効果的と思われます。私、家族、社員ともども実践しています。

去年の秋ごろ、4 期の友達から死亡広告を見て、学園の関係者に同窓生であるか聞いてもらいたいとの電話があり、直接葬儀場に出向き、葬儀に参列しました。奥様にお悔やみを述べ、お話を聞いたところ、亡くなる直前に、学園に散歩にでかけ、その後急逝したそうです。葬儀終了後、奥様よりお礼のお手紙を頂きました。

その 2 か月後、友達から同期の人が亡くなったとの知らせを受け、自宅に行きました。奥様とお会いしたとき怪訝な様子でしたが、函館ラ•サール同期生と伝えると暖かく迎えて頂き、お話しを聞くことができました。

私もそうですが、年をとるにつけ、学園の想いが日増しに深まってくるような気がします。同期生の逝去にあたり、改めて学園の同窓生の絆を感じることができました。

創設から 60 年余り、多くの同窓生がこの「日吉の丘」で学び、互いに切磋琢磨して、巣立っていきました。同窓会の規約に「会員相互の親睦を図り、函館ラ•サール学園の健全な発展へ協力し、支援を行い、貢献することを目的とする」と定めています。

生徒数の減少により現在学園が大変な状況にあることから、同窓会として学園の将来を考えることが必要と考えます。

世界に広がるラ•サールファミリーの一員として意識を大事にしながら、互いに協力しあい学園の発展に寄与していこうではありませんか。

函館ラ•サール学園　温故知新

知っているつもりながら、実は知らない••••。そんな函館ラ•サール学園に関する記事を２編紹介します。「へぇ！そうだったんだ！」と思っていただければ幸いです。そして「ラサーリアンになりたい！」という少年が増えることを（実は）期待しています。

ブラザー•ランベール講演会「パルメニー修道院の歴史と今」

2017/10/6（金）日本橋社会教育会館ホール

これは、2017 年に函館、鹿児島と東京の３ヵ所で行われた、ブラザー•ランベールの「パルメニー修道院の歴史と今」講演の内、東京で行われた講演を録音したものを書きおろし、東京支部の広報誌に入れ、関東在住の OB の方々に配送した記事です。

講演の内容は、以前、日吉の丘で紹介されましたので、ご記憶の方がいらっしゃると思いますが、函館ラ•サール学園 OB だけでなく、多くの方々に聖ラ•サールを知っていただくために、講演の中で使われたカラー•チャートの写真が多々含まれているこの記事を「日吉の丘」に載せることにしました。

支部の広報誌掲載にあたり、私が講演を伺った感想を込めて、ラベル先生に掲載許可をお願いした際、下記のメールをいただいています。先生が英文でおっしゃっていることについて、「何のこと？」と思った方は、是非、目を通してみてください。

Dear Iwabuchi San:
I received today your email with the attachment of Brother Lambert' talk, translated into Japanese.

My sincere gratitude for this great effort of translation! Very patient and excellent work!
I know that many people will be happy to read it.
And maybe they will discover very meaningful and important words for themselves, for their life and their mission in our society.
Congratulations for this valuable endeavor!

I was the translator for **Brother Lambert** only in Hakodate.
It was a different translator in Kagoshima. Fortunately!
Because my translation was very poor, for sure!

What Brother Lambert said concerning the sharing of saint De La Salle in Parmenie with Sister Louise is very important. For me also!
And what saint De La Salle did, following Sisters' Louise advice, was the source of several thousands of La Salle schools in the world, during more than 300 hundred years!
Something wonderful!
And thanks to that, both of us are ≪Lasallians≫ today!
THANK YOU, SAINT DE LA SALLE !

IWABUCHI SAN,
MY BEST WISHES
for a HAPPY CHRISTMAS
and FRUITFUL NEW YEAR!

Brother Labelle

皆さま今晩は。日本に来て、こうして皆さまにお会いすることができ、大変嬉しく思っております。そして、ラ•サール会に来て、ラ•サールについて話すことができ、大変嬉しいです。

世界中のラサーリアンが歌う、あの歌を聴くことが出来、大変、心が躍りました。そして、通訳の Seiko Takano さんにもお礼を申し上げます。

私は、これから講演を致しますけれども、講演の中で都度都度、ご質問があれば、遠慮なく、なさってください。講演の後にも質問の時間があります。

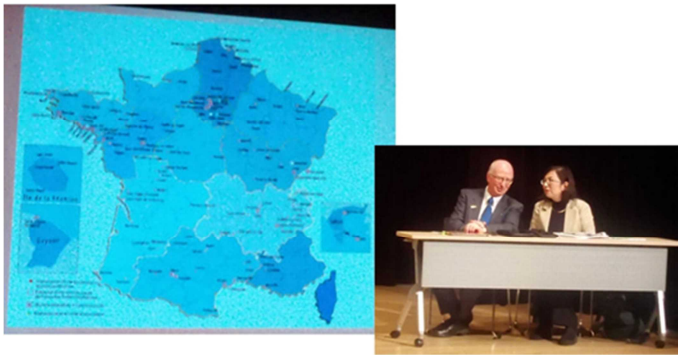
ジャン•パプテスト•ド•ラ•サール、聖ラ•サールのことは、皆さまご存じですが、パルメニー（Parmenie）に来たことにより、ラ•サールにとってどのような変化があり、又、それがどのような重要性を持っていたのかということは、知らない方も多いのではないでしょうか？

何故、ラ•サールにとってパルメニーが重要だったのかというお話をするのですが、その前にラ•サールのフランスでのネットワークについて、学校を持っておりますので、お話ししたいと思います。

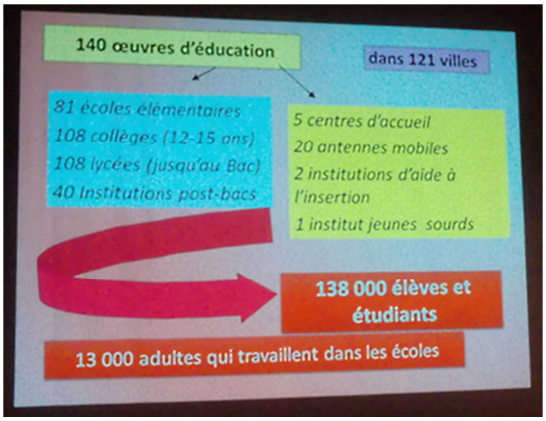
日本では函館、仙台、そして鹿児島と言うように、2 つの学校と施設を用意しております。フランスの場合は、海外圏もあり、アフリカにあるレユニオン島、それからカリブ海にあるキアヌ島があります。加えてギリシャにもラ•サール会の、やはり学校がありますが、フランスの管轄になっておりまして、管区がフランスです。

キリスト教学校修士会の学校がフランス全国、海外圏とギリシャにあるということです。

（下記スライドの）赤いポチポチになっているのが、ラ•サールの学校、教育機関がある場所を示しています。140 の学校がありますが、これらは 121 の都市にあります。この中には小学校、中学校、高校、そしてその上の大学にあたる機関もあります。



（下記スライドの）右側の黄色いところの、最上段にある「センター」は、いろいろな方々を、学生さん、子供さんを迎えるセンターです。その内の一つが、パルメニーと言う、私が居る場所のセンターになります。その他の 4 つのセンターでは、子供のスキー教室とか、野外教室などを開いております。



20 とあるのは、移動学校です。トラックで移動しまして、移動しながら生活しているジプシーの人たち、それからロマの人たちのお子さんの教育に携わっております。

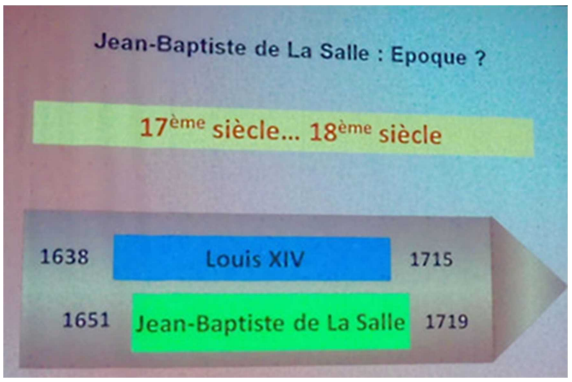
編者注）ロマとは、wikipedia に拠ると「ジプシーと呼ばれてきた集団のうち、主に北インドのロマニ系に由来し中東欧に居住する移動型民族」です。

それから、学校から外れてしまったようなお子様方々に対する、特別な施設、教育施設などもあります。それと、耳の不自由な子供さんの学校が１つございます。

ラサーリアンを世界的に見ますと、82 か国にラサーリアンがいます。日本の皆様もその一部、つまり、皆様もこの教育機関に属していらっしゃるという事になります。

聖ラ•サールとラ•サール会の創設について、話を戻したいのですが、齋藤様（函館ラ•サール学園同窓会会長）の方からもお話しがございましたが、聖人ラ•サールも、いろいろな苦しい時期があったと••••。そして、苦難と危機を乗り越えて来た。それは、カソリック教会の修道会などの創始者の多くの方々が経験しておりますが、それと同じ様にということです。

こちらの（下記左スライドの）映像ですが、これはラ•サールが生きた時代を示しております。17-18 世紀ですが、丁度、国王はルイ 14 世、太陽王と言われていた国王でした。



ルイ 14 世、国王やその周辺、宮廷は非常に豊かな生活を、快楽と供に過ごしている一方、国民は非常に貧しい時代でありました。貧しい生活を強いられていたということです。で、ラ•サール会を作ったラ•サールですが、ラ•サール会は、創設と共に、広く、多くの教育機関を持つようになったのですけれども、それと共に困難に遭いまして、存在自体が危ぶまれる様な状況に遭いました。

聖ラ•サールがどの様な危機を体験する様になったのか、原因を挙げていきたいと思います。

当時、教育を与えていたのは、修士教師という人たちでした。そのクラスというのは５人から６人という小さなクラスで、且つ、裕福な家庭のお子さんだけが入れる様な学校であった訳です。そういうところにラ•サールが自分の学校を作った、無料の学校を作ったということで、非常に成功していく訳なのですが、それを妬んで、わざわざ学校まで来て、学校のいろいろなものを破壊したということがありました。その修士教師たちがです。

そして「自分たちのみが、教育を施す権利を持っているのだ」と言って、裁判を起こす迄になったのです。クレマン事件というのが起こりまして、その流れで裁判になり、この裁判でラ•サールは敗訴し、その為に、ラ•サールの（当時の社会での）正当性が疑われる様になってしまったのです。

それに加え、ラ•サールは 60 歳になり、若いブラザーが入って来た訳なのですけれど、世代間の考え方の違いという事が明確になっていきまして、ラ•サールが決める決定に理解を示さない、或いは、退会してしまう。それから、ラ•サールを頂上として考える事に反発を感じてしまうということもありました。

この背景にある事なのですが、ラ•サールが作った、このキリスト教学校修士会というのは、当時のカソリック教育の常識を超えた、あまり当時の常識には合っていない会だったのです。

具体的に言うと、例えば司祭でない修道士が会を作るということ、司祭を頂上に据える事をしないということ、観想修道会ではないこと、青少年の許で学校で教えたり福音を伝えたりするということ、これらの事は、当時のカソリックの教育から考えると、非常に規範から外れた事であり、そういう修道会であったのです。

編者注）観想修道会は、女子パウロ会がインターネットに掲載している情報によると「基本的に修道院の中だけで祈りと観想、労働を中心とした生活を送る」修道会で、「外的な活動にかかわらず、神さまの豊かなめぐみをすべての人の上にもたらすよう、神のみことばの黙想に励み、生涯、一定の修道院に定住」する修道会です。

ラ•サール自身は、自分がパリのラ•サール会のブラザーから信頼されていない、自分はこの新しい会を作った訳なのだけれども、次第に、運営に関して自分が信頼されていないと感じる様になったのです。

この様ないろいろな原因と、責任者としての立場上の疲れなどから、1712 年にラ•サールはパリを離れまして、南仏のラ•サール会の修道院に行きました。

その頃、南仏にも新しいラ•サール会が複数できており、その中のマルセイユなどに寄りまして、最終的にグルノーブルに行って少し休息をとったのです。

そして 1714 年。グルノーブルに滞在していた時なのですけれども、グルノーブルから 30km 離れたパルメニーを訪れました。パルメニーというのは、その当時、いろいろな方々が祈りと平安を求めてやって来て黙想する、黙想の家でした。

そして、その黙想の家で活動をしておりましたシスター•ルイーズに、このパルメニーを訪れたラ•サールが出逢います。

ラ•サールはその当時、非常に危機を感じており、今の時代の言葉で言うならば、ちょっと鬱状態になっていたわけです。そういう時にどんな分別のある判断をするかという、それを方向付けた 2 つの事があります。

ルイーズ、シスター•ルイーズは、ラ•サールの現状を聞いたのですが、彼女はラ•サールに対して、大きな刺激を与えて、そして次の様な言葉を使って再考を促します。

「神があなたに父親となることを命じた、あなたの家族を捨ててはいけません。その家族を捨てるということは、神の御意志に背くものです」

2 つ目の出来事ですが、それはパリのブラザーたちからの手紙です。

ラ•サールに対して**「私たちは信頼を持ち続けています。ですから、もう帰って来てください。そして、又、修道会のトップになって、指導してください」**という手紙であったわけです。ラ•サールが、そうした**「要請に応じて下さることは、若者と貧しき者の為の、神の御業の余慶に関わるのです」**と書いた手紙でした。

この 2 つの出来事、つまりシスター•ルイーズに出会った事、それと、主なパリのブラザーたちからの手紙を受け取ったということで、勇気を再度奮って、パルメニーの丘を下る決心をしたのです。

そして、これによりキリスト教学校修士会であるラ•サール会は救われ、今でも存続しているのです。

ジャン•バプティスト•ド•ラ•サールとパルメニーの関係について、何か質問はないでしょうか、如何ですか？

（ここで若干の待ち時間がありました）

それでは、質問が無いようですので、続けます。ブラザーたち、そして、ラサーリアンにとって、この場所（パルメニー）がどういう風な心の拠り所になっているのか、それをお話ししたいと思います。

毎年、パルメニーには、10 万人の人が訪れております。そして宿泊する人は 5000 人おります。

1960 年、ブラザー•レオ•ブークハートが、ラ•サールが自分の責任をもう一度果たそう、そして、できたばかりの修士会の将来を堅牢なものにしようと決意をした、この場所に行こうと考えました。

実は、第二次大戦の被害をパルメニーも受けまして、破壊されておりました。それを見たブラザー•レオ•ブークハートは 1965 年から、聖職には付いていない人たち、善意のある人たち、ボランティアの人たちとチームを組みまして、パルメニーの再建に乗りだしたのです。そしてパルメニーを再建して、巡礼者、ブラザー、ラサーリアンを受け容れる場所としました。そのイニシャチブは、とても実を結びました。

今は、祈りと黙想の場所になっているパルメニーです。又、休息と新たな活力を得る為の場所です。そして、養成、研修をする場所、研究をする人を受け容れる場所、いろいろな見極めをしようとする、或いは選択をしようとする人を迎える場所となっています。ここはブラザーであっても一般人であっても行くことができる場所です。

パルメニーに来る人達を迎えて、いろいろなニーズに応えていく修道士、ブラザーをご紹介したいと思います。一般の人たちと協力をして活動をしております。（ここでスライドに、修道士の方々の集合写真が映し出されました）

そして、青少年を対象と致しまして、パルメニーの歴史を伝えたり、或いはブラザーについて、それから教育の使命についても、情報提供を行っております。そして、チャペルがございますので、そこで祈りの時間を分かち合う様にしております。

ここまで、パルメニーと聖人ラ•サールの関係、それから現在のパルメニーがどの様に活動しているかという事を申し上げました。次にフランス全体で、このラ•サール会としては、どのような教育を施しているのかという話を致します。

その前に、何かご質問があったら受けたいと思うのですが、如何でしょう？

質問）パルメニーが第二次大戦でどの様なことで、誰に破壊を受けたのでしょうか？

パルメニーがあるのは山間です。近くにベルコールという場所があるのですが、ここはレジスタンスの拠点になっていたんです。

ドイツは、レジスタンスの牙城となっているその場所を駆逐しようという考えを持っており、ベルコールを空爆して攻撃する前に、レジスタンスが隠れていそうな周辺拠点を、全部破壊したんです。戦前はヴェネディクト会のオリベッタという修道会がパルメニーを使っており、戦争になりましてそこを去ったのですが、図書室がありました。本がたくさん残してあったんですが、結局、焼けてしまったんです。

質問）聖ラ•サールが最初にパルメニーに行かれた時、一人の神父さんとして行かれたのでしょうか？どういう立場で行かれたのでしょうか？

ラ•サール自身は司祭でした。ランスで司祭の叙階を受けまして、ランスで（フランスの美しい街なのですけれど）、このラ•サール会、キリスト教学校修士会の基となるものを作った訳です。このキリスト教学校修士会というのは、非常に、当時革新的な会でして、司祭

でない世俗の人たちをブラザーとして受け入れて、修士会を作るという考え方だった訳です。他方、ラ・サール自身は司祭で、自分の後継として或る若い人を考えていたのですけれども、その人が死んでしまったのです。

その若い人が死んでしまったことを受けてラ・サールは、「これは神の御意志である」そして「神は、修士会はブラザーだけで行くべきだということを、若者の死を通して告げているのだ」という風に考えたのです。

ラ・サールは、ラ・サール会が何かうまくいかなくなったのは自分のせいだと感じまして、それで、グルノーブルに行った訳なのですけれど、自分が神学校で勉強した時に、同じ神学校に行っていた友人の司祭がいまして、その友人の司祭の招待を受けてグルノーブルに行ったのです。実はラ・サール自身、かなり、いろいろな事を考えておりまして、グランド・シャルトルズと言われるシャルトル会の修道会に入ろうかとも思っていたのです。

次に行きたいと思います。ラ・サール会の学校が、今、どの様な教育を行っているかということを話す前に、フランスの今の状況についてお話ししたいと思います。

今、戦争が世界中で起こったり、飢餓が起こっていたりする為に、それから逃れる為の移民がフランスに多く押し寄せています。又、フランスの社会では、非常に多くの異なる宗教を信じる人、又、文化を持つ人が混ざっています。そして、イスラム教を実践している人も、非常に数が増えて来ています。外国から家族で移民して来た人々の割合が大都市で特に増えており、学校でも増えて来ています。

ラ・サール会の学校では、いろいろな、そういう状況を踏まえての提案をしており、具体的に言いますと、2 年毎に具体的な活動に結びつく様な、考察のテーマを提案しています。それを、フランス、ギリシャ、及びスイスの、すべてのラ・サール学校に対して行っております。そのテーマの例を 5 つ挙げたいと思います。

- **コミットメントと、責任を**とると言う事はどういうことか？
- 他人に奉仕すると言うのは、どういうことか？他人に奉仕するとしながら、本当は自己満足の為にやっていないか？
- Only One、一人一人は違うということは、良いことなのか？出自、出身に対する敬意、民族に対する敬意、宗教に対する敬意、異なる意見に対する敬意を持つべきではないか？
- 4 つ目のテーマとしましては、出会いは新しいスタートではないか？これは、シスター・ルイーズとラ・サールが出会った事によって、一つ道が開けたことからです。
- 5 つ目は、今年から始まって、これから 2 年間続くテーマです。**勇気を奮って、兄弟愛を実践しよう、**というテーマです。

加えて、私たちが学校で教えていますけれども、青少年のニーズに応える為の提案をいろいろしております。連帯活動する為の提案です。例えば、ラ・サール・ボランティア活動というのをやっております。数週間ないし数か月、他の連帯組織と一緒に、外国に行って、恵まれない国に行って、教育活動をするなどの、奉仕活動です。

それから、若者が対象ですけれど、大人も対象にしている、やはり、教育の為のプロジェクトをやっておりまして、これは「正義、奉仕、及びコミットメントの為の道のり」というプロジェクトです。これは国の学校教育とリンクしているカリキュラムで、教える側としては、カリキュラムの一部の好きなところをとって、自分のカリキュラムに組みこんで教えることができる様になっています。

それと、ラ・サール学校で教えている教師、それから指導者、そして卒業生など、関係者の人たちの研修、養成をしております。

フランス全国には幾つかの活動拠点があり、活動拠点内には幾つかの部署が作られています。その内の 1 つの研修教育部をご紹介申し上げます。通年で、教育、学校関係、そして資金調達などの研修を行っている、ラ・サール・インスティテュートという研修所があります。

それともう一つ、とても重要な活動があります。これはフランス・ラ・サール・センター、CLF というものなのですが、2 年間にわたって、毎年、公開のセッションを行っているのですけれど、個人やグループを対象にして、いろいろな研修を行っております。この研修、養成セッションには、教育者、教師、それから教育に携わっている関係者、それから学校事務などに関係している学校の職員、それから卒業生など、つまり同窓生も参加しております。だいぶ前から、この研修（セッション）は行われておりまして、多くの教育関係者の研修、養成に携わって参りました。ジャン・バプティスト・ド・ラ・サール聖人の精神を引き継いだ形で、非常に深く、学校の精神であるとか、教育方針であるとかを、養成、研修するセッションです。

それから、もう一つ、この研修と関わりがある組織と致しまして、数年前に作られたのですけれど、ラ・サール教育フラタニティという組織があります。これは 20 人あまりのブラザーと、世俗の人たちを含めた会なのですけれども、ここがアドバイザーになって、管区長などにアドバイスしております。

で、それと共に、このフラタニティの会の地域別のもの、地域別フラタニティがありまして、これは、全国いろいろな地域であるのですけれど、定期的に会を開いておりまして、お祈りをしたり、それから、いろいろな教育のテーマについて話し合ったり、或いはラ・サールの書いた文章などを読み合う、そして、親交を深める為に、一緒に食事をするなどを行っております。この小さな、ローカルなフラタニティはとても重要でして、実践、実生活と非常に結びついており、全体のネットワークを生きたものにする役割りを担っています。

で、そういう風に定期的に集まる時をサポートするという意味で、いろいろな活動の報告とか、或いはイニシャチブを与えるということで、定期刊行物を出しております。フラタニティ・ジャーナルというものです。

地方別に幾つかのフラタニティが集まって会を開いたりしておりまして、その他に全国大会を 2 年に 1 度、開いております。

次に、皆さんに非常に深く関係がある、同窓生の話をしたいと思います。フランスでの同窓生の役割についてです。後で、質問を考えておいてください。

今、（フランスでは）同窓会が非常に努力をしておりまして、学校との生き生きした関係を続ける為の活動をしております。絆を持ち続ける為に、学校の責任者と定期的に会ったり、それから同窓会同士、繋がりを作ったり、学生との親交を図ったり、いろいろなイベントに参加するなどしております。学校に寄付をする、それから、学校に学費が払えない家族の支援をするなども、同窓会の役割りとして担っております。又、ラ・サール学校の管理や経営もサポートして

おりまして、いろいろな役割を果たしております。

それから、職業の日というのを設けていまして、同窓生が、学生の前で自分の職業を紹介したり、学校を出てから、そういう職業に就くまで、どういう道順でそこへ行きついたかなどの紹介をしております。企業の責任あるポストに就いている同窓生が、学生、高校生とか大学生の学徒に対して、企業内研修を提案したり、企業内研修が別のところで受けられる様に、口を利いてあげたり、ということもあります。

それから、全国同窓会の日というのがあり、その日には全国から同窓生が集まって、出会うということもやっております。ラサーリアンが自分たちの役割を、もう一度、明確に理解する日でもありますし、いろいろな研修を受ける日でもあります。そして、それぞれの地域で、どういう活動をしているかということを話し合う場でもあり、祈りを一緒にします。

私たちが先ほど聴いた様に、ラ・サールの歌を歌う。特に年配の同窓生たちは、好んで歌を歌います。そして代表を選びまして、OMIL、ラ・サール卒業生世界連合にも参加をしております。これは皆さんも同じと思います。

そして、世界のラ・サール・ネットワークをインターネットのサイトやSNS を使ってサポートしておりまして、特に、困難な状態にある青少年を助けています。

最後に卒業生の話をしたいと思います。多くの卒業生は、ブラザーが居たか居なかったかに関わらず、自分で学校で体験したものが非常に重要で、それを基に、自分もいろいろな役割を果たす様になったと言っております。

受けたもののお返しとして、自分でも与えて行きたい。大きな、教育という伝統に対して、自分が小さな石を一つでももたらしたいと、考えていると。

そして、自分たちの commitment は、**信仰（Faith）、兄弟愛（Fraternity）と奉仕（Service）の** 3 つの価値観がベースにあるが故に意味を持つのだと。

信仰という意味では、世界は非常に多宗教になっており、同窓会にもいろいろな宗教や信念の人が参加しています。しかし、自分たちの良心、自分たちの信念を拠り所として宗教を超えた共通の価値観を持ち、自分の生きているという事実に意味を与えることができると、卒業生たちは言っています。

兄弟愛という価値観ですが、お互いに愛し合いなさい、と福音の中でキリストは言っています。同窓会も、他の人を思う気持ちを兄弟愛と言っていますが、連帯の気持を持っています。兄弟として、現在の生徒や学校の関係者、教師、事務の人、運営管理者、保護者の会などと連帯します。

奉仕という第三の価値観なんですが、これは真にラ・サール的な価値観であります。聖書の中にも「あなたがたの内、最も偉い人は、仕える者になりなさい。」と書いてあります。同窓会には、社会的地位や名誉を求めずに、人の役にたちたい、学校の為に自分ができることをしたいと考える人がたくさんいます。

後は結論なんですが、短いですので、ここで、皆さん。質問などありましたらどうぞ。

（ここで、鹿児島の OB の大先輩の方より質問に変えた謝辞がありました）

質問）函館の OB です。当時を思い浮かべますと、学校ではラ・サールの教育というのは、殆どカリキュラムの中に入っておりませんでした。それで、私たちは、ブラザーの奉仕の姿を目の当たりに見て、それを、どちらかと言うと、又、敢えて言えば、背中を見て、ラ・サールの精神を知ったのではないかとみております。先刻、先生は、フランスでの同窓会活動、それからラ・サール卒業生の活動の活発な事を披露して下さいましたが、学校に於ける、聖ラ・サールについてのカリキュラムというのは、やはり、日本と同じ様に、特に設けられてはいないのでしょうか？それともやられているんでしょうか？

ご質問ありがとうございます。フランスの学校ではすべて、カリキュラムで、週に１時間の思考の時間があります。で、キリスト教の生徒が多いところでは、聖書とかキリストとか、それからジャン・バプティスト・ド・ラ・サールの精神とかを、その１時間を使って学びます。そうでない学生さんが多い様な所では、学校によってその 1 時間の呼び方が違うのですけれども、いろいろな深い考察を進めるという時間になっておりまして、例えば、他の宗教をよりよく発見、と言うか、知る為の授業であったりという使い方をしております。

それから、小さいお子さん向けなのですが、大人も読める、Bande dessinée 日本語で言えば漫画にあたるのですが、ジャン・バプティスト・ド・ラ・サールの一生を綴ったものも出ています。

それから、パルメニーに来るグループについてですが、特に初めて来るグループとかは、グルノーブルとか、リヨンとか、アヌシーなんかから来ることが多いのですけれど、往々にして「ブラザー、是非、聖ラ・サールについて教えてください。」と言う人が多くて、私なんかが、こういう映像を使って、聖ラ・サールがどういう人だったかという説明をしております。

こういう活動は重要でして、と言いますのは、今、学校の数は多いのですが、実際にブラザーの修道院を併設しているところは、もう 2、3 箇所しかないのです。フランスでは 40 箇所に修士会があるのですけれど、殆どが、高齢の、定年退職した私の様な者の修士会になっています。

結論に行きたいと思います。フランスは今、多くの宗教や文化の坩堝となっています。そういう中で、ラ・サールの学校にとっては、やはり、人道、博愛の精神を示す、ヒューマニスト的な結びつきをもたらす事、それが公平や正義の基礎となると思っています。そういう団結の価値というものは、善意であり、信頼であり、勇気であり、見

識であり、人の話に耳を傾けること、そして兄弟愛であります。

こういうヒューマニストな価値観というのは、信仰を頼りに、謙虚、許し、尊敬、真実という形で実践されていきます。そして、皆さんの様なラ・サール会の同窓会は、いろいろな、参加される活動、それから会にインスピレーションを与える皆さんの存在によって、光を放っております。ですので、その同窓会に会員として参加するだけではなく、積極的なアクターとなっていただきたいと思っています。

ということで、ご清聴ありがとうございました。私を歓迎してくださり、感謝申し上げます。ラサーリアンであることを誇りに思ってください。そして、いつでも、パルメニーにいらして下さい。

21期生（1983年卒業）は今年と来年、2年連続同期会を実施します！

卒業40周年記念同期会

期日：2023年9月17日（日）18：00～
場所：函館市本町28-15　Hakodate Dining 備後屋

還暦記念同期会

期日：2024年9月15日（日）
場所：函館市大手町5-10　函館国際ホテル

参加申込み：s.kishibe@gutz.co.jp　090-3392-0232（実行委員会事務局：21期3G卒　岸部 悟司）

「生涯を通して心の底から尊敬した、恩師村元直人先生と、その奥様」

6 期 伊藤　恒敏

（宮城県医師会報 No.907 2021.8 より一部改変し、宮城県医師会の許可を得て転載）

心の底から尊敬した恩師村元直人先生

「イトマキヒトデの毒性の研究」

高校１年の時、生物部に入部し、生物学の教師で生物部顧問の、私の生涯の「恩師」村元直人先生と巡り会いました。生物部では熱帯魚を飼育したり、ツチガエルをポリバケツに入れて土中に埋め越冬させたりしていましたが、高校 3 年の時、まとまった研究をしたくなって村元先生に相談し、村元先生からの提案でイトマキヒトデの毒性の研究をすることになりました。

イトマキヒトデが貝を食べる際に分泌すると考えられる、貝柱にとってのイトマキヒトデ肝臓由来の「麻痺性毒」の研究です。その昔、下海岸の家々では、多分、「ボットン」便所に、イトマキヒトデの乾燥したものを放り込んでおくと、ウジ虫も湧きにくい、と言われたそうで、イトマキヒトデには、何か防虫効果を持つような物質も含まれているのではないか、というのがその実験のきっかけでした。その年の５月から毎週土曜日の午後、電車で１時間以上もかけて函館山の麓の磯に出かけイトマキヒトデと海水をポリバケツ一杯にして夕方遅くなって学校まで戻り、水槽に入れて月曜から実験ということを繰り返していました。

村元先生の指導の下、毎週のように実験を繰り返し、困難にぶつかっては村元先生に相談しながら、夏休み前までに何とか実験を終了しデータをまとめ、発表できるようにしました。先生の指導のお陰もあって、自分達から見てもなかなかの力作だったと思います。村元先生から「北海道高校理科研究発表会」に発表してみないかと誘われ、1967 年 11 月、高校 3 年の生物部員 5-6 人と村元先生とで会場の室蘭まで出かけました。

発表会では他の 2 校と共に最優秀校に選ばれました。それなりの自負もありましたので、受賞はとてもうれしく思いました。その日のうちに函館に戻り、村元先生が街でみんなに「牛鍋」を食べていかないか、と言って下さり、当時の贅沢を知らないわれわれは一も二もなく村元先生のご好意に甘えて御馳走になり、先生含め参加者全員で最優秀校受賞の余韻に浸ったものでした。

「医学部に行きなさい」

高校卒業の時には、村元先生自ら「私の家で皆の送別会をしよう」と誘って下さり、卒業する生物部員を御自宅に招待されて、奥様の御馳走をいただき、当時のわれわれにとってはこの上ない感動的な経験をさせてもらいました。

実はその前、私は村元先生にある相談をしていました。父が医学部に行けと私に強く勧めていたのですが、私はどうしても研究者になりたいと思っていましたので、単純に研究者になるのであれば、理学部だろうと考え、理学部進学を志望しておりました。父にそのことをいつ言い出そうか、悩んでいたのです。

生物教師ならば何か有効なアドバイスをもらえるかもしれない、と考えて思い切って相談しました。私の話を聞いた村元先生は、間、髪を入れずに「伊藤君、親父さんの言うことを聞いて、医学部に行きなさい。医学部でも研究者にはなれる。大丈夫だ。」と教えてくれたのです。私はこの一言で躊躇なく医学部に進むことができました。

村元先生は高校の生物教師でありながら顕微鏡ひとつで「ヘリカメムシの唾液腺細胞染色体」の研究に従事され、当時の北大の牧野佐二郎教授に師事されていたことは、先生からの時々のお話しでわかっておりました。私が研究者になってしばらくしてからも、村元先生は牧野先生の推薦で「日本学士院紀要」にも投稿を続け、後にヘリカメムシの唾液腺細胞の中に共生細菌が存在することを発見されたのです（私見ですが、この発見は、動物細胞の「ミトコンドリア」は「細菌」由来である、といういわば進化論的な推論を実証しているようなものではないか、と考えています）。

大学を卒業し、かねてからの計画通りに研究者となり研究を始めたばかりの私に、とにかく、実験をして論文を発表するようにと身を以て無言で叱咤激励をして下さったものと今になっては理解しております。

「真摯、真面目、見識、理念、そしてその強く深い影響」

私が医学部教授になって以降も、何かにつけて村元先生の指導を仰ぎました。次第に、人生のこと、時々の私の悩みの相談や、人付き合いのことなどの愚痴も聞いてもらったものです。何人もご存知のように、村元先生は何事にも真摯で真面目です。そして村元先生のお考えや発言には、一定以上の見識がありました。高校教育にも理念を持っておられました。関連する先生ご自身の文章や、雑誌に掲載された記事、新聞に載った文章などもたくさん読まされました。

そして、その上、先生には、一流の品格も備わっていたように思います。品格、それに哲学を持つものとしての倫理観からだと小生は感じていますが、高校教育や、生物学教育、北海道の文化人たちの足跡を追った著作も刊行されました。

ある時、仙台で知り合った 20 年も年の違う母校高校の後輩小笠原博信君（26 期）を伴って村元先生宅に伺ったことがありました。一時、先生のお宅に滞在した後、村元先生宅を辞したあと、小笠原君が「村元先生は、伊藤先生とおっしゃること、考えることがあまりにも同じなので感心していました。」と目を丸くして私に言います。もちろん、それは私が村元先生からかくも強く深い影響を受けたからなのです。言い方を変えれば、自分の考えのありようを、村元先生という鏡に映しだして、自分の考えを確認したり修正したりしていたのだと今でも思っております。

もちろん、函館在住の親友相馬信幸君（6 期、同じ生物部だった）と私が一緒に村元先生宅に伺った時には、毎回、奥様も私たちと村元先生の話しに、元気に陽気に楽しそうに、参加してくれました。奥様も私たちの鏡でした。

「奥様の脳出血、そして村元先生の膵臓癌」

その奥様が 10 年ほど前、脳出血となってしまいました。村元先生は「今度は自分が、彼女にこれまで世話になった分のお返しをする番だ。」と献身的にお世話をされました。そのように言いきって実行される先生には、感心するだけでした。残念なことに、それ以来、奥様は話すのが困難になり、私たちの前にはなかなか出て来られなくなってしまいました。

奥様の脳出血の数年後、今度は村元先生に膵臓癌が見つかります。それまで村元先生はすこぶる元気だったのですが、膵臓癌の診断後、2-3 ヵ月かけてご自身の書斎を整理され、「自分の人生の整理をした。あとはいつでもいい。」と言っておられたのをいまだに忘れられません。そのあと、近くに住んでおられた村元先生の次女の助けを得られて、奥様を施設に預けられ、御自身はホスピスに「入院」されました。

「最期のお言葉」

2017 年 3 月 26 日にホスピスの村元先生を訪ねました。次女の方が傍におられて、私たち（相馬君と私）を見て、眠っていた村元先生を起こされました。ベッドの上に上半身を起こし背筋をピンと伸ばして、私たちに向かってしっかりした言葉で、「あなた方のような方々に本当によくしていただいて、自分はここまで生きて来ることができました。心から感謝します。」と村元先生が言うのを聞いて言葉

がありませんでした。言葉の端正さから考えて、とても「恩師が教え子に言う」セリフではありませんでした。

後からわかったことですが、この言葉の翌日に村元先生は永眠されました。意識が朦朧とする中、人生の最期の際（きわ）に、このように謙虚な物言いをされる人間の生き方を、生まれて初めて目の当たりにして、私は真に驚くばかりで、ただただ言葉を失っていました。今でも、村元先生の最期のお言葉に、どのようにお返事をしたら良いのか、答えが見つかっていません

御葬儀は、相馬君と私の予想通り、御家族による密葬で執り行われたそうです。享年 87 歳。出棺の時に、相馬君が先生のお宅の前まで出向いて「今お宅を出るよ。」と連絡をくれ、私の分まで先生の棺に頭を垂れてくれました。

奥様の最期の日記

「奥様の訃報」

村元先生が逝去された後、奥様は次女の方のお世話で、施設で暮らすようになりました。相馬君も私もそれ以来、どうしても村元先生のお宅からは遠ざかってしまいました。奥様に会えなくなって数年があっという間に過ぎてしまいました。そして2021年の5月、相馬君が、村元先生の奥様が 2021 年 5 月 3 日にお亡くなりになったという訃報を 5 月 9 日付けの新聞で見つけて連絡してくれました。奥様は 91 歳でした。村元先生が亡くなられてからすでに 4 年が経っていました。相馬君は、私と電話でやりとりをした後、その日のうちに村元先生のお宅にお花を持って伺ってくれました。

次女の方がおられてお宅にあげていただき、御仏壇まで通されて、御焼香して来たと相馬君から連絡があり、御仏壇の写真や、戒名のお写真、御遺影、御遺骨、それに奥様がお亡くなりになる数日前の、奥様手書きの日記の写真も送って来てくれました。

「伊藤小君、長いつきあいだったね。」

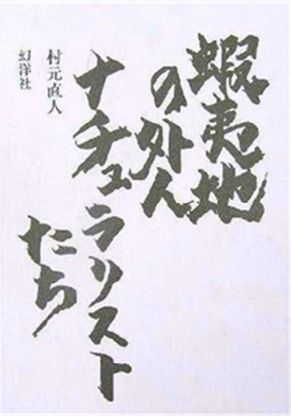
奥様が亡くなる 5 日前の日記には「伊藤小君、長いつきあいだったね。」と、奥様の震える筆跡で力強く書かれた文章がありました。相馬君は、この文章を見つけたからこそ、奥様が亡くなる 5 日前の写真をわざわざ撮影して送ってくれたのです。「伊藤小君」というのは私の名前の「恒」の字の立心偏までご記憶されていて、あとは思い出せなかったのだろうと思われました。この文を見た時、私は「また」言葉に詰まってしまいました。涙も滲んできました。

親友も私も、村元先生が亡くなられてからはこの 5-6 年間、一度も奥様にお会いしておりません。つくづく、失礼な「無沙汰」だと反省しています。です、その状況であるにもかかわらず、お亡くなりになる 5 日前に敢えて書いて下さった奥様の「伊藤小君」の記述はどう受けとめたらいいのでしょうか。いまわの際（きわ）に私のことを思い出してくれたのです。頭の中に重たい何かを突然ドンと詰め込まれたようで、考えがまとまりません。奥様が書いた文言にどう自分の言葉で考えをまとめるべきなのか、どう自分の言葉で答えるべきなのか、この文言をいただいてどう私の生き方を改めるべきなのか、2021 年 5 月の奥様の訃報以来、思案に暮れております。

村元先生御夫妻のこの生き方、お二人の人生の閉じ方を目の当たりにして、私は自分の生き方の曖昧さにどのようにケジメを付けたらいいのだろうか、と途方に暮れるばかりです。村元先生の最期のお言葉、奥様の日記の最期の文章。この双方の、凛とした、しかも相手を最期まで思いやる崇高なお気持ちに、私はどうしたら応えられるのだろうか。答えも言葉も生き方も容易に見つかるものではありません。

もとより、この村元先生御夫妻の人生とその生き方には、とても敵うものではありません。お二人を失った寂寥感も今さらながら尋常ではありません。

君たち、なあんにも知らないんだね。結構結構！



11期の卒業アルバムにある、村元先生の写真です。

函館ラ・サール学園同窓会

理事会長　森　俊雅（14期）

moritoshimasa@sky.plala.or.jp

函館ラ・サール学園同窓会

理事事務局長　林　完自（14期）

hayashi.kanji@pm-sf.tepm.jp

寄稿「北海道•札幌冬季オリンピック•パラリンピック招致の行方」

11期 二木一重（北海道スキー連盟専務理事）

2020 東京オリンピック•パラリンピックはコロナ禍により延期されましたが我が母校出身のハードラー金井君の活躍には誇らしい思いが残りました。

また暑さ対策で札幌にて実施されたマラソン•競歩競技は結局暑い中での開催でしたが多くの市民に感動を与えてくれました。

この気運をバネに札幌冬季オリパラの招致を一気に実現することを望んでおりましたが、東京オリパラ組織員会等の不祥事の影響で招致の行方が混沌としています。

そうした中で、新たに招致への意欲を示す国が出てくるなど札幌の立場は悪くなる一方です。

現在札幌市に於いて有識者による検討委員会を立ち上げ再発防止策について議論されています。

提言された内容を基に防止策を示し、再度招致に向けた活動を再開することになりますが、市民•国民のオリンピック招致に対する肯定的な思いを盛り上げる必要があります。

足踏みをしている間に反対派の方々の動きが活発化し、世論の動向に大きな影響を与えています。

一方、マスコミの報道等賛成派の方々の思いが表に出てこない、また出しづらい雰囲気もあると感じます。

いずれにしても、オリンピックの開催意義について丁寧に説明していくことが必要に思います。

身障者に限らず、高齢者へのバリアフリー化の促進や北海道ブランドの向上など社会資本や経済への貢献、そして何より、将来を担う子供たちの夢と希望を実感させることのできる大きなイベントであることです。

今後は、IOC が札幌の示す再発防止策をどのように評価し判断するのかということと世論の動向にかかっています。この年末にも IOC は内定を出す方向で動いていると聞いていますが全く予断を許さない状況であると言えます。

北海道スキー連盟は、独自の強化事業及びスポンサー企業の支援を受けてオリンピックを目指す選手の強化に力をいれていますが、できれば地元開催のオリンピックを経験して欲しいと心より願っています。

オリンピック招致に同窓生のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

11期 札幌支部長 二木一重（北海道スキー連盟専務理事）
札幌支部の総会・懇親会は毎年9月第一土曜日開催です。
皆さんの参加お待ちしております。

北海道•札幌
冬季オリンピック•
パラリンピック
の招致を目指しています
Japanese Paralympic Committee

27期 庄司 一範
大正9年創業、函館育ちの総合印刷会社。
おかげさまで今年で創業103年目に入りました。
株式会社 龍文堂
〒006-0832 札幌市手稲区曙2条5丁目2番54号
TEL. 011-682-1451
URL: http://www.ryubundo.co.jp
E-mail: k-shoji-ryubundo.co.jp

24期

admin@satsueki-clinic.com
http://www.satsueki-clinic.com/
院長
横山 太範
Motonori Yokoyama
メンタルヘルス 個人・家族相談
さっぽろ駅前クリニック
〒060-0003
札幌市中央区北3条西4丁目1-1
日本生命札幌ビル3F
TEL 011-280-0556
診療科目 心療内科/精神科

今こそ会社のメンタルヘルス体制構築
株式会社
MRC札幌
Mental health Research Consulting
24期 横山 太範 所長
52期 横山 道春 相談員
札幌市中央区北4条西4丁目1番地MMS札幌駅前ビル7F
TEL 011-209-0556
E-mail info@mrc-sapporo.co.jp

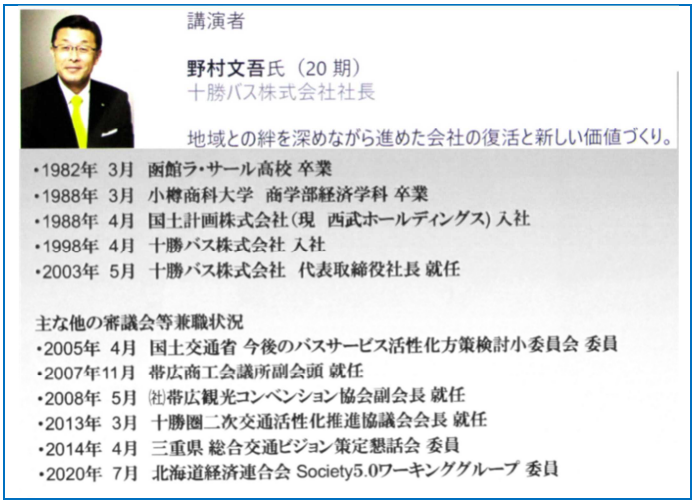
「地域との絆を深めながら進めた会社の復活と新しい価値づくり」

2021/6/12（土）Webiner

20 期 野村 文吾

東京支部では、2020 年の春、新型コロナで緊急事態宣言が出される前、年次総会を 6 月 13 日に総会を学士会館で開催すべく、OB への案内配送作業を行いましたが、その後、総会はやむなく中止になりました。この記事は、幻となった総会で（20 期が中心の）総会実行委員会が講演をお願いしていた野村さんに、次の年（2021 年）にオインライン開催した総会で講演いただき、その内容を、東京の広報がパソコンで参加しながら録音し、画像を接写し、それを筆記した上で、野村さんに数回にわたり校正いただいた記事です。

只今、ご紹介ありましたとおり、私、20 期卒の野村でございます。生まれも育ちも十勝でしたが、その後、函館に行きまして、小樽、東京と渡り、今、又、地元で仕事をしております。



今日は、21 期の皆さんにお声掛けをいただきました事、本当に光栄に感じております。ありがとうございます。

私、20 期なんですが、昨年は、東京支部では x0 期の幹事年で、その際「総会で公演しないか？」と同期から声をかけられまして、本来ですと（昨年の）この場で話をさせていただく予定だったのですが、残念ながら新型コロナで流れまして、失意に落ちていました。けれども、21 期の皆様に 20 期の気持ちを汲んでいただいた様で、引き続きお声掛けいただきまして、本当に、有難たく、これが、ラ•サール•ファミリーの友情なんだろうな•••と思っているところであります。

皆さん方、今回のコロナで、例えば飲食業の方とか、観光業の方は、きっと同窓にもたくさんいらっしゃると思うのですが、大変な影響を受けていると思います。交通事業者も、同じかそれ以上に大変な状況でありまして、皆さんもご存知の JAL、ANA が、うん千億円単位の赤字を出しています。そして、事業規模の違いをそのまま縮少した規模の赤字が、弊社でも出ております。

そういうわけで、このコロナを乗り超えられるかどうか、非常に厳しい時でありますけれども、きっと、世の中、この後、大きく変化をするであろう••••、先ほど、同窓会の総会等をどういう形で行うのか、新しいスタイルがあるんじゃないかという話をしていましたが、全く、その通りで、世の中、大きく変わって行くんだろうと思っています。

従いまして、過去の延長線上には未来はないであろう、新たな理想の一点、ここを目指さなければ、コロナの後、様々な事を乗り越えていけないのじゃないか••••と思っています。

今日は、そんな話を交えて、皆様に十勝バスの取り組みについてのお話をさせていただきたいと思います。

それでは、函館ラ•サール同窓会東京支部総会、講演会「お客さま密着！で地域に貢献する十勝バスの経営～40 年振りの利用者増加の実例」ということで、話を進めさせていただきます。

最初に、これまでの経緯を、少し当社の説明等も踏まえて話をさせていただきます。

当社は大正 15 年創業で、本年で 95 年目。あと 5 年で 100 年企業に仲間入りをしますが、私は 4 代目社長です。

曾祖父が彦根から北海道に渡り、その後、十勝に移り住んで事業を始めたと聞いています。その後、祖父、父と事業を継続してきております。

これに対して私ですが、私が高校で函館に行った理由は、父に「地元に居るな！」と言われたことによります。

私は地元の高校志望でして、そこも受かっていたのですが、父がそこの入学金を払ってくれなかった•••のでして、つまり、地元の高校の入学を「失格」して、函館ラ•サール高校に入学しました。

その時以来、父からは「自分の力で生きていけ！」と言われていましたので、まさか、後になって十勝バスに戻る、入社するとは思っておらず、様々な夢を追い求めまして、勉強と青春とスポーツと、そしてその後は、西武で仕事に打ち込みました。

1. これまでの経緯

十勝バスの資本金は 5,000 万円、従業員数は 270 名、車両数 129 両です。図の左側の黄色い路線バスが、当社のメイン事業で、当然ながら貸切バス事業も行っておりますが、現在は、ジャンボ•タクシー、福祉ハイヤー、介護事業、学童保育事業、教育事業、便利屋事業もやっております。

バス以外に手を拡げている理由ですが、バスにお乗りいただいていたお客さまがお乗りいただけなくなった後、そして、今後お乗り頂ける様になっていただきたい世代に対して、しっかりとお手伝いをして、安心して、いつまでも信頼いただいて、路線バスに乗っていただきたいという思いからで、これからも拡げて参ります。

この図が当社がカバーしているエリアです。今日は、皆さん、函館の高校に通っていた方なので、詳しく説明するまでもないと思いますが、北海道の真中の南です。ここに、私が生まれ育ち、今、生活している十勝があります。

十勝の面積は、全国の都道府県の面積と比較しますと 6 番目の広さになります。北海道が都道府県の面積は 1 番ですから、その中に十勝があるので、北海道を除くと、全国で 5 番目に広いエリアということになります。よって、一つの県のバス事業社と同じ様な状況、傾向にあると想像していただければと思います。

私が十勝に帰る前後は、地方都市ではモータリゼーションが進み、当社に限らず公共交通はどこも非常に厳しい状況でした。

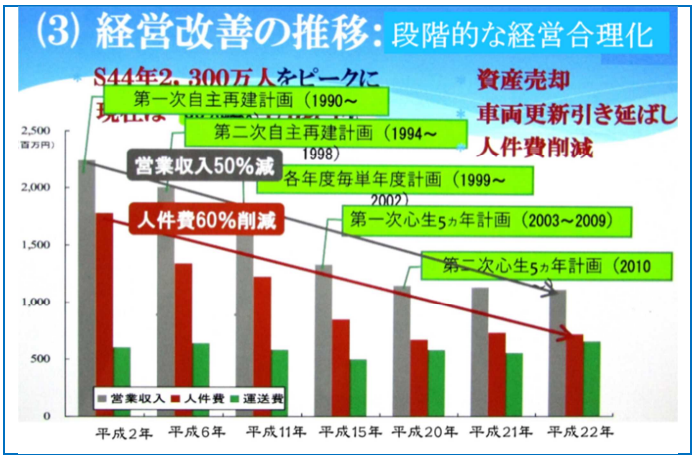
東京は、電車、バスの利用者がとても多いですから、そういうイメージは持ち辛いと思いますが、十勝を含む全国の地方都市、皆さんの故郷は、今も同じ状況ではないかと思います。

そんな状況の中、当社は、数次に渡る自主再建計画に取り組み何とか生き残って来ました。

地域の皆様にしっかり移動の足、生活の足を提供して来まして、昭和 44 年のピークの後、一旦は、復活したのですが、コロナで他社と同様、苦しんでいるところです。

どの位自主再建計画に取り組んだのかと言いますと、人件費です。皆さん信じられないと思われるでしょうが、60%カットしました。40%カットして 60%になったのではなくて、60%カットしたんです。

年収 500 万円の方が 200 万円になる、600 万の方が 240 万円になるという••••そこまで非常に厳しい合理化を行って、今に繋げてきているんです。



ところが、当社の運転手さんは一人も止めないで、仕事を続けてくれたんです。当時、聞きましたところ「俺たちがいなくなったら、地域の市民はどうするんだ？移動できなくなって大変なことになるじゃないか？自分は苦しいけれども、何とか役割りを、使命を果たしたい！」そう言って、当社の社員は残ってくれたんです。

勿論、経営側はそういう状況を作ってはいけないのですが。使命感があるところに人は乗り越えるすべを持つということが、あるのじゃないかと思うのです。

で、私ですが、1998 年に帯広に戻りました。どういう時だったかと言うと、第二次自主再建計画が終わる前年です。父に呼び戻された訳ではありませんし、お前がやれ、と言われた訳でもありません。

当時、私は西武の本社で企画宣伝の仕事をしており、原宿で働いていたのですが、父が突然現れ「会社をたたむ。もう、自分の力ではこれ以上やっていけない！」と言ってきました。

このシチュエーションは、テレビ•ドラマの世界では「お前がやってくれ！」というのを待つ様な事になると思いますが、そうではなかったのです。

実は、その前年に大株主だった祖父が亡くなり、その株をすべて孫の私が相続していたのです。当社は欠損金を持っている状態でしたので株価は 0 ですから、私がすべて相続しましたものの、相続税はかかりませんでした。

なぜ実子ではなく孫の私が相続したのかと言いますと、訳がありまして、父の兄弟で分散して相続すると、会社をたたもうとした際に全員の了解をもらうのが厳しい。そう考えた三代目社長である父が、兄弟を説得して彼等にとって甥の私に相続させたのです。

そして、実際に会社をたたもうと父は決めたので、「大株主であるお前の了解を取りに来たのだ！」と言うのです。それに対して私の気持ちは「そういうことか•••••」

というのは、高校で函館に行っている時にも、大晦日に家に帰ると、家の中で荷物がすべて段ボールに入っているんです。「どうしたの？」と聞くと、「いや、年を越せないと思っていたんだ。でも、何とか越せる」という光景を、毎年の様に見ていましたから、何時かはこういう日が来るのだろうな•••と思っていたのでした。

私は意を決して「いや、俺がやる！つぶすんだったら、俺にやらせてくれ！」と言いまして、それで父が喜ぶのかと思いましたら、逆で父は大反対でした。

「絶対だめだ！お前なんかにやらせられるか！」「やれる訳がない！」と言われました。

そこで、こちらも意地になり、会社を辞めて帯広に帰る事にしてしまいました。

帯広では、亡くなった祖父が住んでいた、空いていた家に住みつきました。祖父は病気でその家に寝たきりで療養していまして、その療養の為の部屋に、勝手に住みついて出社したのが始まりでした。

会社では、一応、入社式を社員の方にしていただきました。実は西武という会社は丁稚奉公の様な仕事から始まりまして、トイレ掃除とか玄関前の掃除とかそういうことから始めた経験があるので、ここでも同じ様にして始めようと、トイレ掃除を始めたところ、父に呼び出されました。

「ちょっと社長室に来い！」と言われまして、いよいよ訓示を貰えるのかなと思って行ったところ、まるっきり違いました。

「今日から、お前が全責任を持ってやれ！俺はもう知らん！つぶすつもりでいたんだから、お前の好き勝手にやれ！伸ばすのも潰すのも、お前次第だ！」と言われ、その場で実印と金庫の鍵を渡され、私の十勝バス人生がスタートしました。

そして父は、言ったとおり、本当にそのまま帰ってしまい、それ以来、出社せずに、自分のやりたいことを始めました。会社は火の車ですから、私は、どうしていいかわからない中、進んでいくことになった訳です。

「そこまでするの？」と思いもしましたが、先刻冒頭で言いました様に、（私が第一志望にしていた）公立高校の入学金を、「お前は、地元に居るな！」と言って納めなかった位の父です。言ったことは守るのです。

正直、すっかり困りはてて、毎日毎日、会社の中にある資料を調べ、社員にヒアリングを重ねていましたが、潰れる寸前の会社というのは、本当に状況が悪く、コンプライアンスもガバナンスも何も効いていない。やりたい放題、荒れ放題です。

さて、社長業です。西武で培った改善案ですとか、効率化策ですとか、いろいろな施策を提言するんですが、一つとして聞き入れて貰えませんでした。「そんなことやってられるか！」の一言で終わってしまうんです。

そんな訳で、3 ヵ月たった頃には心が完全に折れまして、当時29 歳でしたが、毎日、浴びるほどお酒を呑んで、街の中で暴れておりました。

人って、心が荒むと、何でも他人のせいにするんですね。街で飲んで、知らない方に「お前、何、こっち見てるんだ！」なんて因縁をつけたり、なんでも文句をなすりつけて、ひたすら人としてやっちゃいけないことばかりしてました。

そんなある時、夜の街でバッタリ遭った地元の同級生に、「お前、もう潰れるって噂だぞ！」と言われて、ハッとしました。

その一言で、街の中でウワサになっていることを知り、一気に青くなったのです。

その頃、金融機関から融資が止まっており、そんな中でも、夏の賞与を出す為にお金を融資してもらうべく、銀行をかけずりまわっていたのですが、一軒も出してくれず、そこにきて、ウワサが広まっていると聞いたわけです。

彼には「ウチの社員は誰も、俺の言う事、聞いてくれないんだよ！」と愚痴りました。

そうしたところ、その同期に「お前は、社員を大切にしていないんだな。社員を大切にしない会社では社員は良くならない。」「社長の器以上には、会社っていうのは大きくならないんだ。今のお前見ていたら、大変チンケで安っぽい男だ。そりゃ、お前の会社、潰れる様になる」と言われました。

そこで「お前、なんで、そんな一丁前なこと言えるんだ！」と開き直りましたら、「経営者には経営者の勉強があるんだ。紹介するからそこへ行け！」と言われ、このまま愚痴っていても埒が明かないということはわかったので、その勉強会に行くことにしました。

そこでも「社員を大切にしろ！」ということを朝から晩まで言われだんですが、それを含めて、どうも自分の実経験と合致していない話ばかりなので、真面目に聞いていませんでした。

すると、ある時、そこで私の面倒をよく見てくれた先輩が、いろいろ言ってくれた後、「お前、どうして俺の言う事が聞けないんだ？」と言うんです。

私、生意気にも「聞ける様な話じゃない」と答えましたら、「それなら、どうやれば聞いてくれるんだ？」って言うんです。

その頃は、夏の賞与の為の融資をお願いに銀行に行って、土下座ばかりしてましたので、「土下座してくれたら聞くよ！」と先輩に言ったならば、きっと先輩は「土下座なんかやってられるか！」と言って、以降、僕に何も言わず、放っておいてくれるだろうと思いまして、「土下座してくれたら聞くよ！」って言ったんです。

そうしたところ先輩は「土下座をしたら、本当にお前は俺のいう事を聞いてくれるのか？」と言うんです。

で、開き直って「おぅ、聞くよ！」と応えましたところ「絶対にその言葉忘れるなよ！」と言って、その場で先輩は、本当に土下座をしたんです。

びっくりしました。咄嗟に脇から先輩の腕をかかえてひきあげて、「わかりました！やってみます！」と、自分が知らぬうちに声をだしていたんです。

約束した以上は、私は守る方ですので、「先輩！どうして、僕にそういう風に言ってくれたんですか？」と聞きましたところ、その先輩に「お前の事が心配なんだ。このままじゃ、会社が潰れて、お前、台無しになっちゃうぞ。」言われました。

皆さん、ここは大都会、東京ですけれども、「お前の事が心配なんだ。」と、私の場合の様に、何の利害関係も、取引もない会社の社長である、ただ勉強会で知り合っただけの先輩に、こういう風に心配されたことって、親は言うでしょうがありますか？

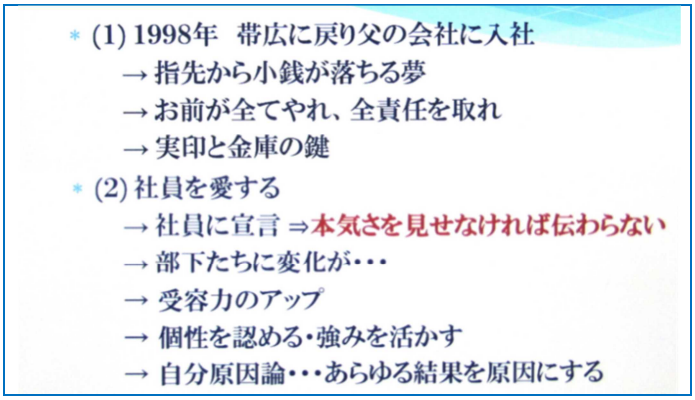
私には、これが唯一の経験で、皆さんも、そういう経験ってないと思うのですが、人っていうのは、利害関係がない人に心配されると、正しく考えだすのかもしれません。

その翌日の朝礼で、当社の社員に言いました。

その頃、私に対して会社では「出てけ！出てけ！」の大合唱だったんです。会社にいると「この若坊主、出てけ！」だったんです。

朝礼で、今までの自分のやり方はよくなかった。賛成してくれないと敵だと思っていた。大変申し訳なかった。今日から、皆さんのことを大切にするので、是非とも、もうしばらく、自分のことを見て欲しいという様なことを言いました。

社員も私が土下座した先輩を見て心が揺さぶられた様に、私が本気だということが分かってくれれば気付いてくれるんじゃないか••••そんな思いもありましたが、何より、口にだしたことは二度とひっこめられませんから、有言実行で、弱い自分を戒めるために、ちゃんと、自分が言っておかなければいけないと思ったのです。



この後、私から見て社員たちが変わり始めました。私には、自分のことをちゃんと見てくれて、耳を貸してくれる様に見え始めました。

そして私は、どうやればもっと聞いてくれるんだろう、わかってくれるんだろう？どうやったらもっと社員を大切にできるんだろう？と、朝から晩まで考え続けました。

人間の能力って不思議だと思うのですが、そう考えれば考える程、策って出て来るんです。

そうして考えたことを、一つ一つ試して行きましたところ、どんどん、社員が変わって、今もコロナで十勝バスも厳しい状況にありますが、快進撃につながっていく所に至ったんです。

これは、どうして興ったのかと、常々私は考えるんですが、自分自身が、他者を受け止める力を、拡げたところにあるんであろうと思うのです。

他者を大切にするということは、受け容れる力を拡げる事になる。恋愛の時もそうですね。私たちは男子校でしたから皆さんよくわかるのではないかと思いますが、女性に対して恋愛感情を持った時、相手のいろんな欠点は見えるものですが、気にならなくなる。

ですから、今、気になっている人は気を付けて下さい。恋愛感情は下がっていると思いますから•••。これは、会社の部下や、或いは学校の先生の生徒に対する気持ちも一緒じゃないかなと、私は思います。

大切に思えば思うほど、どうやったらこの生徒は成長するんだ、或いは社員は成長するんだと思う筈ですので、きっと、人を大切に

思うことで、受け容れる力が拡がっていく。

そして、受け容れる力が拡がれば拡がるほど、その人の長所、短所がしっかり見えて来て、弱みや短所は気にならなくなります。

強味を伸ばす為にはどうしたらいいんだろうかという事を考える様に変わってきて、一人一人が合った仕事をお願いできる様になってきたのです。

自分に合った仕事を貰うと、誰でも得意満面になってやるんです。そうすると、成果も出易い。成果が出ればモチベーションが上がります。モチベーションが上がれば、どんどん仕事の質は上がって行きます。そんなことを、一つ一つ繰り返して行ったのだと思います。

何事も他人のせいにしていた時は、全く見えませんでしたけれど、原因はすべて自分にあるんだという風に、考え方が変わりますと、すべてに対して対策、解決策、改善策が見えて来て、それに実直に取り組んで来ていたということです。

私は、そういう事を一つ一つ丁寧にやっていく事に、蒔かぬ種は生えぬということわざを当てはめて、自分に言い聞かせております。

種は、何時芽がでるかわかりません。人の成長もそうです。いくら教えても、直ぐに芽を出す社員ばかりではありません。だからこそ、種を蒔き続けて、適切な光、栄養、水を一番タイミングの良い時に出す事によって、くだものに例えるならばすばらしい果実をつけます。人間もそれと同じなのではないかと思って、今は、種を蒔き続けているところです。

2.　戦略的な営業強化

非常に厳しい中にあったんですが、或る営業強化策を採りました。これは帯広の市街地図です。駅前がありまして、十勝バスの本社は一番外れにあります。そこを通って、駅前のバス・ターミネルに全車両が出て来るのですが、この赤い 4 つの線は、10 数路線あるうちの 4 路線で、ここを営業強化のエリアとして、徹底的に、お客さまに十勝バスの事を伝えていこうと思って取り組もうと、私は思ったのです。

しかし、こればかりは社員に反対されました。

「嫌だ！」と言うんですね。「どうして嫌なんだ？」と聞いたところ、「バス会社が営業するなんて聞いたことがないし、やったって無駄だと思う。やっても無駄なことはやりたくない。」と言われました。

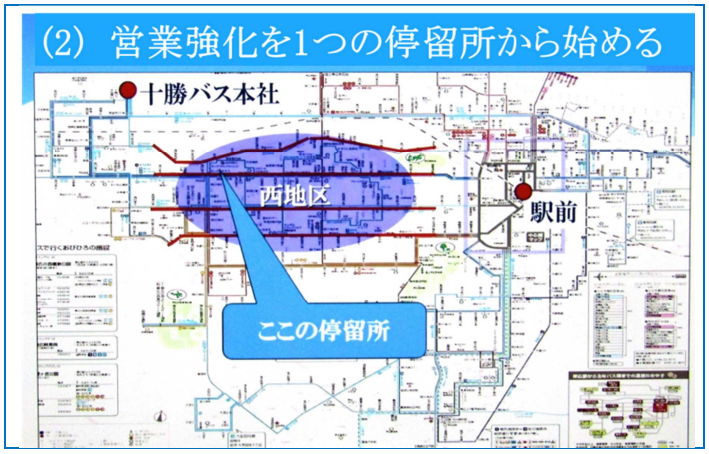
それを聞いた当時の私には、たぶん、受け入れる力が増えていたお陰だろうと思うのですが、「そうか。やりたくないか••••。じゃぁ、どうやったら、やりたくなるんだ？」と聞いたのです。

そうしましたら「1 ヵ所位なら•••。そりゃ、やってもいいですよ。」と言われましたので、「そうか！よし！わかった。じゃあ 1 ヵ所からやろう！」と言いまして、「この 4 線の中の、たくさんある停留所の中の 1 つの停留所から始めよう。」「この停留所で成果が出なければ、それ以降は止めよう。それでいい。その代わり成果が出たら、隣りの停留所、反対側の停留所という具合に、一つ一つ停留所を伸ばし続けていこう。それでいいか？」と言いました。

「それなら、やります。」ということになり、やってくれたんです。

で「戸別訪問をやろう！」と言ったんですが、実際には社員たちはやってくれないんです。その代わりに何をやったかというとポスティングです。ちらしやパンフレットを持って、一生懸命、一つの停留所の周りの民家を回りました。

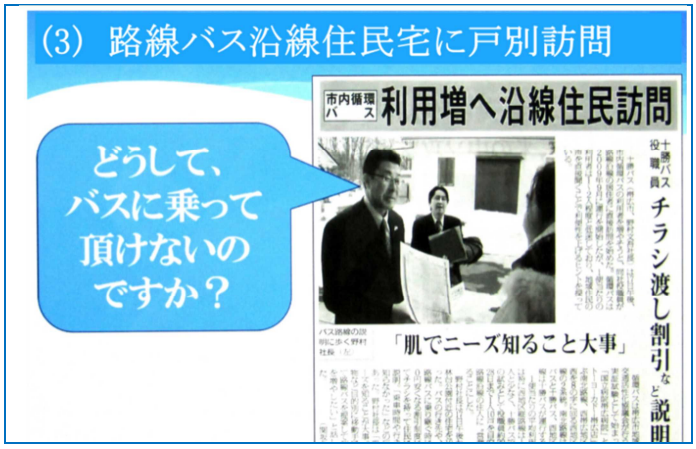
「そうじゃないんだ。一人一人に会って、我々の話を聞いてもらおうよ。」と言ったんですが、「怖い。」と言うんですね。



と言うのは、その当時、十勝バスは厳しい状況にあり、社員の心に使命感はあったんですが、心が荒んでいまして運転に現われていたんですね。荒い運転であり、荒い接客サービスでした。

従いまして、市民からとても評判が悪くて、朝から晩まで苦情電話が鳴っているという状態。そういう電話を管理職が対応していたものですから、お客さまは怖いと思い込んでいた。

それが「行きたくない！」と言っている理由だと感じまして、「じゃぁ、俺が行ってみるよ。」と言って、10 数年前ですが、私が先頭切って、管理職を連れて行きました。



すると、お客さまは苦情とか言われないんです。すごく喜んでいただけた。これは十勝バスが 80 数年、この地でしっかりと運営を続けてきたからこその、信頼感があってことなんだな、と思いまして、思い切って本題をぶつけてみました。

「どうしてバスに乗って頂けないのですか？」

すると、市民の方々から口々に言われました。「いやぁ、そう言われてみると、バスに乗るっていうことは、考えてもみなかったなぁ••」

その時、お客さまから話がありました。「家の前に毎日バスが走っているのを見ているんだけれど、そのバスが何処に行くバスなのかわからないんだよね。」と•••

或る人からは、「いやぁ、幾ら位払うの？バスって？」と聞かれました。又、別の或る人からは「前と後ろにドアがあるけれど、どっちから乗るんだっけ？」と聞かれました。

我々バス会社は、お客さまは当然、そういうことはわかっていらっしゃると思って、すべての取り組みをしていましたから、「もしかすると、お客さまが嘘を言われているのか、言い訳をされているのかもしれない••••」と、必死に顔を覗き込んで目をしっかり見たんですが、決して嘘をおっしゃっている顔ではない。本気でおっしゃっていたんです。

「えっ？どういうことだ？」と私は思いました。

しかし、咄嗟に、自分が海外出張をして、その街の路線バスに乗ってみようとした時の事を思い出しました••••。

私、海外出張の度にそうしているんですが、本当にこわくて、知らない土地でバスには乗れないです。

人は、知らない乗り物には、人は乗れない。つまり、お客さまは地元に居ながら、長い間バスに乗っていないので、海外でバスに乗ろうとした時と同じ位、不安を感じている。

お客さまのおっしゃることを額面通り受け止めるのではなく、不安を解消することこそが、お客さまにバスに乗っていただける策ではないかと思いまして、最初に、バスの乗り方を書いたパンフレットを作りました。次に 1 つの路線を取り出して、その路線上にどんな公共施設、或いは商業施設があるのかということを説明したものを作りまして、それをお客さまに説明しながら、戸別訪問しました。

すると、1 ヵ月もたたない内に運転手から「いやぁ、お客さま、増えているんでないかい？社長たち、何かやってる？」という話が出て来まして、「実は、斯く斯く云々やっているのよ。」

「その停留所から増えているのよ。」と言うことになりまして、管理職全員で本当に喜んで、全停留所を回ってやろうという気運が高まり、隣りの停留所、反対の停留所とどんどん伸ばしていきました。

3. 営業強化の成果

この具合に約 1 年で 1 路線をやり終えまして、その結果、その路線は 20%お客さまが増えました。

その後、翌年はもう 1 つ違う路線、更に次の年は別の路線と、3 路線をやったとき、前年対比で、他の 10 数路線はマイナスのままでしたが、これらの 3 路線はプラスに転じていました。

(1) 40 年振りに利用客数が増加

2011年度：一般生活路線　0.5%増
　　：路線バス全体　4.3%増
2012年度：一般生活路線　11.7%増
　　（前々年度対比 12. 2p増）
　　：路線バス全体　12.4%増
　　（前々年対比 16.5%増）

この成果は、当社の中では 40 年振り、全国の地方都市では初めてだということです。

そして、いいニュースが入ってくる様になりました。全国でも同じ様な状況の会社があり、様々なところから「どうやったらそうなるのか？」と、十勝バスに来ていただける様になったのです。

そこで私は、この取り組みを、全国の地方都市の、同じ様に苦しんでいるバス会社にもお伝えしようと動いたのですが、残念ながら、当社の社員がそうであった様に「バス会社の社員が営業するなんて考えられない！」というところが多く、思い余って、国土交通省さんに行きました。

ところが国土交通省さんも、「それは十勝バスさんのエリアの事でしょ？他のエリアでも同じことが起こるとは思えません！」と言う反応で、全く取り合っていただけませんでした。

その時も実は、私、少し心が折れたんですが、私が行っている勉強会で「野村社長、あなたは視座が低いから、エネルギーにならないんだよ。視座を高めて、志をしっかり持ちましょうよ。」と言っていただきました。

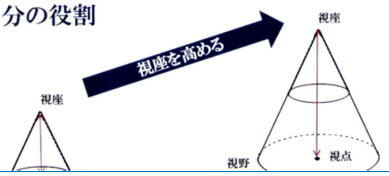
「視座を高める。」要するに、自分の立ち位置を高めて、もっと地域、つまり全国の地域の為になるようなことを、しっかり考えて取り組んで行かなければならない。そう思って、「志は国を動かす！」という言葉を使い始めました。

「国を動かす」と言うと、皆から「政治家をめざすのか？」と聞かれるのですが、私が「国」と言っているのは「全国のバス会社」の「国」です。

全国のバス会社さんと、国土交通省さんを動かしたいということを言いたいのですが、そうすると長くなるので「国を動かす」と言っております。まっ、こう言って「カッコいいでしょ？」とお伝えすることで、なんとか理解していただける様になっていったのです。

(2) 視座を高めて、『志』を持つ

① 視座を高める
→ 2011年元旦　志を「国を動かす」とする
→ 全国の地方の路線バス会社と連携を要望
→ 国土交通省に地方の実情に合った施策を要望
→ 自分の役割



又、全国のバス事業社と連携していく為には、まず、信用していただき、理解していただかなければいけないので、「マス・メディア戦略」を打ち出しました。

私、実は、西武時代は企画宣伝部におりまして、メディアさんとの対応の仕方は知っていたものですから、それを活用しました。

左上が北海道新聞社。一面カラーで出まして、日経ビジネス。そして NHK の全国放送に出ました。

真中、これは当時の深夜番組ですけれども、先輩 ROCK YOU という番組で、再現ドラマをやりました。

この後、私どもの取り組みを本にしましょうということで、大学の先輩、当時はコンサルタントをやられていた方に本を書いていただき、その本を基にミュージカル KACHI BUS を演じさせていただきました。

そして、東京の下北沢、本多劇場、ここはミュージカルのメッカと言われている所で、13 公演させていただきました。

すべての公演が入りきらない人が出る程、超満員になり、「じゃあ、地元でも凱旋公演をしよう！」ということになりまして、帯広で、市民文化ホール、1,500 名の会場で 2 回やりました。

満席になる筈がないと思っていたのですが、十勝バスが取り組んだ、一軒一軒まわってお伝えしていくという内容に共感いただけたのではと思うのですが、なんと 2 回とも満席になりました。

人口比で東京に置き換え、東京ドームをどれだけ満席にしたかと言うと、7 日間、満席にしたのと同じ位なので、多少の無理がありますが「ジャニーズ超えをした！」と、勝手に解釈しておりまして、そのくらい、十勝市民の方々は、奮闘ぶり、非常に厳しいところから努力を重ね、改善を重ねてきていることを、ご理解いただき、たくさんの市民の方に応援していただいたと感じております。

ミュージカルに続き「奇跡体験！アンビリバボー」でも再現ドラマになりました。これはゴールデンタイム, 全国ネット 30 分で、数億単位の広告でしたから、本当に信じられない様なできごとで、私どもしびれあがりました。

そして「致知」にも、対談として出させていただき、この効果だと思うのですが、全国から視察、ヒアリングに、2 年間で 100 社位、来ていただきました。年間 50 社ですから毎週 1 社の割合でお越しいただいた事になります。

やがて、国土交通省さんでも「引き受ける」と言っていただき、役所が動くと政治家の方も動き始めまして、自民党のバス議連の方にも聞いていただきまして、どうやったら地方のバスを活性化するのかということで、後に法律にも入れて頂きました。

様々な賞を頂いていった中、当時の太田国土交通省大臣が、これは非常にすばらしいものだ、是非、国土交通省でも取り組むという風に言っていただきまして、その翌年、国土交通大臣表彰をいただきました。太田大臣から直接いただきまして、本当に有り難い限りでありました。

で、そうなると、会社も変わるんです。人は注目されると、光が当たると、輝き始めるということだ、と思っております。

当社の社員が自主的な取り組みを、どんどん始めまして、結果、この様な笑顔ができる運転手さんが、非常に多くなりました。

朝から晩まで、苦情電話が鳴っていた時が嘘の様に, 沢山の礼状、メールをいただく･･･という状況になりました。

4. アナログ重視の「真の MaaS」

私は、当社の取り組んだ、バスを利用することへの不安解消、目的地提案という取り組みを、デジタル化、IT 化するべきだと思っており、更に、これを日本の交通事業の柱にするべきだと、国土交通省を始め、国や様々な方に、提言申し上げています。

これを実現するには、一つのバス会社の中だけでは駄目で、地域の複数のバス会社、或いは複数の交通事業社がしっかりと連携して、お客さまから見ると 1 つの会社がやっている様に見えることが必要であり、絶対的な「地域交通の見える化、活性化だ！」をするのだと考えまして、複数の交通事業社が集まる協議会を立ち上げ、1 つのテーブルの上でいろんな解決策を考えていくということをスタートさせました。これは恐らく全国で最初の試みだ思います。

冒頭で申しあげました様に、十勝バスの創業者は彦根の出身で、会社の方針の中に、「お客さま良し、社員良し、地域良し」の「三方良し」というのがあります。

これからは、これに「競合他社 良し」を加えた「四方良し」の事業をやっていかなければいけないと思っています。

「お客さま良し、社員良し、地方良し」の
「三方良し」に
「競合他社 良し」を加えた
「四方良し」！

「四方良し」という造語は、最近、インターネットのサーチ･エンジンにかけるとよく出る様になっています。密かに「これは私が最初に言ったんだ！」と思っています。

そういう取り組みの結果ですが、他の交通、たとえば JR 北海道さんとも、全道の中では初めて連携できました。

十勝帯広空港には、JAL さんと AirDO さんが来ているんですけれども、JR 北海道さんと連携できましたよと言うと、まず AirDO さん

に「じゃぁ、私どもとも！」と言っていただき、JAL さんにも本社にかけあっていただいて連携できる様になりました。

現在、この北海道の中では十勝が先陣を切って、陸と空が一体となり、様々な取り組みを行っております。

やがて、北海道庁には「交通政策総合指針」の中で「シームレス戦略」を十勝でやって行きましょうと言っていただきました。そして、国土交通省には MaaS と言う言葉を打ち出していただきました。

MaaS:Mobility as a Service とはフィンランドで生み出された言葉で、「複数の交通が、あたかも 1 つのサービスであるかの様につながっていきましょう」という提言です。

フィンランドでは MaaS の取り組みを、もっと早い段階からやっておりまして、国土交通省が言っていることは、そのフィンランドの事例を日本でもやりましょうという提言ですが、私が唱え始めたことが受け入れられたな••••と感じております。

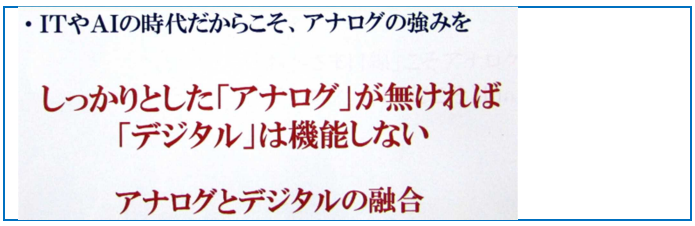
国土交通省が MaaS を提唱されると、すぐに日本の最大手の私鉄グループさんが発言されたことを皮切りに、この数年で MaaS が世の中で広がって来ています。

こういう中、私が考え、言ってまわっていることがあります。

「アナログでちゃんと機能していなければ、デジタル化しても機能はしない！」と言うことです。

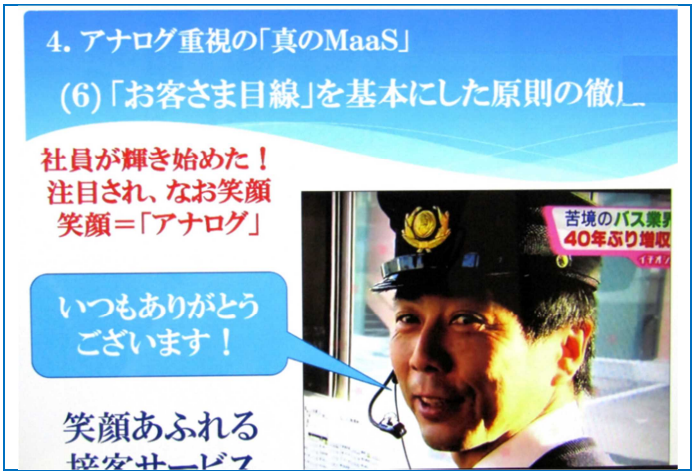
私は、当社で一軒一軒まわって歩いた様に、お客さま目線になることこそがアナログであり、そのアナログの IT 化こそが、真の MaaS であろうと考えています。しっかりとしたアナログがなければ、デジタルは機能しません。

たとえは悪いかもしれませんが、いくら IT 機器が完備していても、腕のいい先生がいなければ、患者さんは行かないです。これは交通の世界、MaaS の世界でも同じであり、アナログとデジタルの融合は必要だと思うのです。



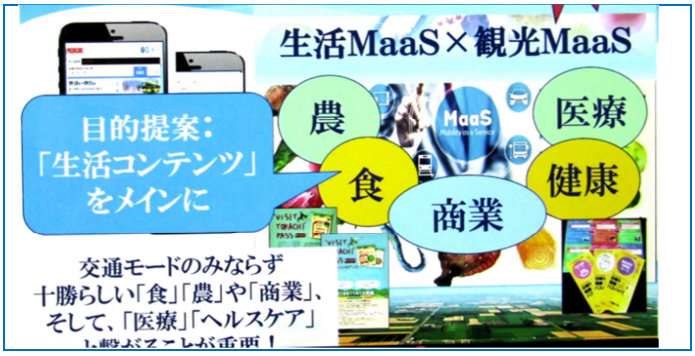
具体的に言いましょう。戸別訪問したのもアナログ、乗り方のガイドもアナログ、目的地を提案したプランもアナログです。それから、チケットをサブスクリプション•タイプにしたのもアナログです。

そして、何より、アイデアをどんどん取り込もうとしている人の笑顔はアナログです。



5. 十勝 MaaS の実現のために

アナログをどんどん採り入れていって、成果を出しているものを IT 化する。IT 化、デジタル化し、そこからヴァリエーションを増やしていく、こういうことが重要だと思います。



尚、世の中では「観光 MaaS」、観光地を目的地とした MaaS が進んできているのですが、私は、市民に眼を向けてこそ、しっかりした MaaS になるのではないかと考え、生活コンテンツ、病院、役所、銀行などを目的地とする「生活 MaaS」に取り組んでいます。

十勝の農を求めて、十勝の食を求めて、十勝の医療を求めて、十勝のヘルスケアを求めて十勝にいらっしゃる方が増えて来ておりまして、観光のお客さまやビジネスのお客さまも、生活コンテンツが求められているという事だと思っております。

つまり「生活 MaaS」は裏を返せば「観光 MaaS」なんです。ですから、生活 MaaS と観光 MaaS のシナジー（2 つ以上のものなどが、相互に作用し合い、効果や機能を高めること）を生む様に取り組んでいこうとしています。

そして、これをデジタル化したのが生活 MaaS で、北海道庁の試み（十勝がパイロットです）の中でやっていただきました。

こうしていろいろなことが起こって来たのは、お客さま目線になるために個別訪問したことから、ずっとアナログで一つ一つ取り組んで来た事のお陰と考えておりますが、その結果、様々な事業者に十勝に投資をしていただいており、つい最近、北海道庁が「運輸連

合で MaaS をやりましょう！」ということで、十勝で、再び新しい事業をやっていただける事になりました。「運輸連合」とは、先刻申し上げた「四方良し」の交通事業社連係の事です。

これは、日本では長崎と熊本でいち早く取り組まれています。私も何度か話を伺いに行くなどしまして、知見を積み上げている最中です。

北海道 MaaS は十勝がパイロットで、その後、全道に広がっていくであろうと思いますので、北海道を日本の中でリードする大地にしていこう、その助力になろう思っております。

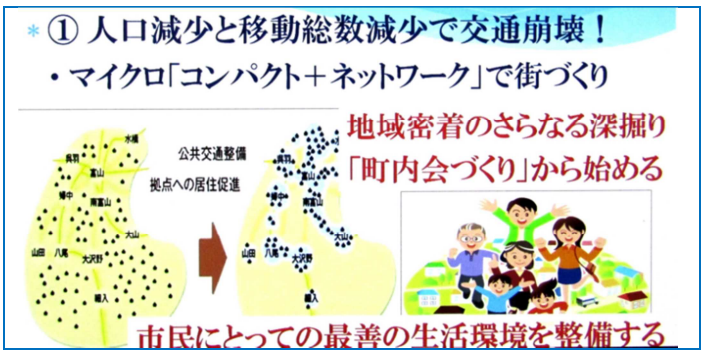
他方、海外戦略にも取り組んでいまして、シンガポールのバス事業社さんと契約をするところまで行きました。現在はコロナで海外に行けなくなり、途中で止まっていますが、コロナが収まれれば、世界に繋がる北海道にしたいと思っております。

6.　アフターコロナに「今向かう未来」

実はコロナになりまして、人口減少は今まで以上に進んでいます。コロナで出産を控えた方が要因ではないかという見方があるのですが、間違いなく人口減少は進んでいます。

加えて、ビジネスによる交通機関の利用総数は、元には戻らないと言われており、このままでは、全国の地方都市で交通崩壊が起きます。

私どもでは、約半数の交通事業者が残念ながら倒産するかもしれないと予測しており、国から運転資金用の給付金が出ていて、それが延命処置にはなっていますが、全国の地方都市は、危機的な状況にあります。



そんな中、当社は、過去の延長線に解決策はないと考え、新たな理想の一点に踏み出そうと、「街づくり」ではなく「町内会づくり、コミュニティづくり」から始めようと思っています。

具体的には、個別訪問で取り組んだ、地域密着。先程お話ししました様に、十勝バスでは最初路線で取り組んだのですが、これをエリアでの取り組みに切り替えました。

町内会作りから始めていくことで、当社の様々な経営資源、介護、便利業などに加えて、フルデマンド交通ですとか、宅配事業も始めておりまして、それを一つのエリアに集中的に投下して、経営資源を集中して深堀りすれば、市民にとって最善の生活環境を整備することになるのではないかと思い、取り組んでいます。

当社の様々な経営資源とコンテンツを１ヶ所に取り込んでいく事で、そこに移り住まわれた市民に、豊かな生活が提供できる様にしていこうと思っています。

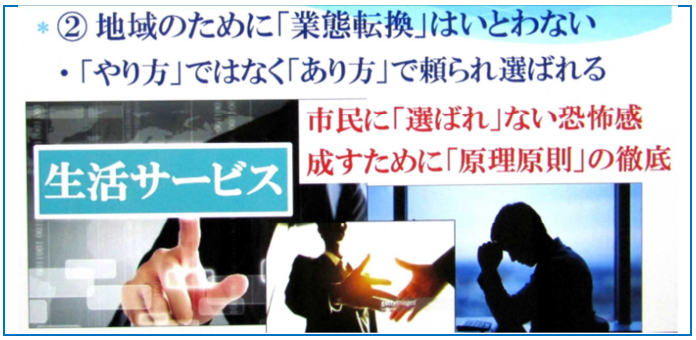
１つの町内会で成果が出れば、それを別の町内会に拡げるということを続けると、俯瞰してみるならば、必然的に街作りになるのではないかと思っていますし、コロナの後の時代のニュー・ノーマルでは、これこそが真の生活 MaaS であろうと考えて、取り組んでいます。

未だスタートしたばかりなのですが、様々な報道機関に取材に入っていただき、どんどん紙面に出していただいているところです。私はこれを、小さく深堀りすることから「ミクロ戦略」とネーミングしているのですけれど、街作り会社になっていこうと考えています。

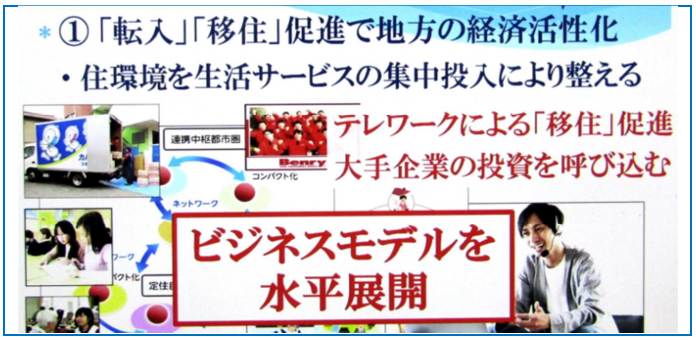
それは、本業であるバス会社事業を支える為でもあるのですが、いわば業態転換です。「やり方」ではなく、会社の「あり方、考え方」を伝える事により選ばれる会社になっていくべきだと思っています。

誰しも、会社の業態を変えることには、恐怖感があります。「もしかしたら、市民は当社を選んでくれないかもしれない。」という恐怖感です。当社が今、生き残れるかどうかは、市民の皆さんのお考え次第です。だからこそ市民に当社の考えを伝えていこう、原理原則を徹底して、取り組んでいきたいと思っています。

我々の脳というのは、非常に錯覚を起こしやすいですし、先入観、固定観念が強いと思うのです。ですから、恐怖感というのも、実は錯覚なんだと自分に言い聞かせて、今、必死に取り組みを続けているところです。



そして、「四方良し」で街作りをやっていこうと思っています。それが本当にできれば、地方の経済を活性化していくことになると思ってますし、先ほど申し上げました様に、住環境、生活サービスを集中投下で整えていくことで、転入・移住を促進し、地方の経済を活性化していこうという風に思っております。



更には、テレワークによる短期移住、中期移住も、これからの時代には増えて来るでしょう。その受け入れ先にもなると思っております。

そして、そういう風にベースが固まってくれば、大手企業を呼び込める様になるんだと思っていましたところ、今年に入って 4 月くらいから、大手企業が 2 件ほど投資を決めてくれました。更に、皆さんがご存知の他の企業からも徐々に話が来ています。

この様に、今、我々が取り組んでいることを、しっかりビジネス・モデル化して、まず当社の中でそれを水平展開する。

水平展開をすることで、マクロでみれば、俯瞰して見れば街作りの形ができるので、それを全国の地方都市に波及させていきたい、そういう風に考えているところであります。

地方の街作りの課題は共通しています。交通の問題も大きな課題の一つであり、交通崩壊が起きた地域は、過疎化を招いた後、限界集落に向い、街が消滅していきます。

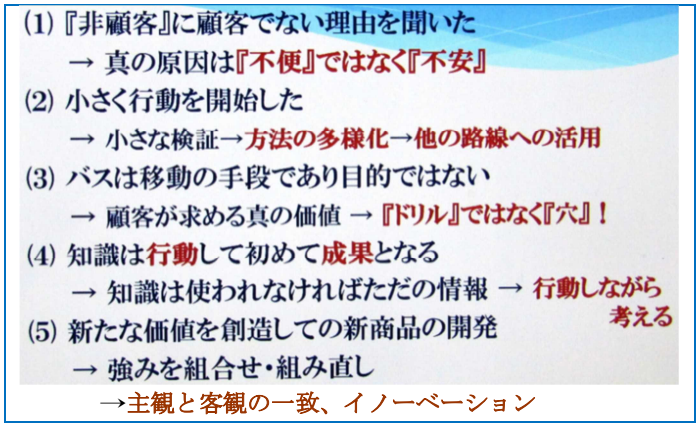
しかしながら、交通はあまり重要なインフラとは捉えられていない傾向があると感じておりまして、「交通は重要なインフラの一つである！」と訴えていこうと思っています。

活性化した地方都市がつながれば、つまり十勝ともう一つの地域がつながれば、影響を受けるところが出て来るでしょうし、そういう影響を受けたところとつながって行けば、しっかりとした影響を与えられる取り組みにしていけると思っております。

今、十勝バスは、今までにない新しいスタイルの、地域密着コンサル会社をめざしていこう。その様に考えている所であります。

まとめ

最後に、今日のお話のまとめをさせていただきます。ここに挙げた 5 つが、私どもが行ってきたこと、今、行なっており、これから目指している事の原理原則です。



一つ目は「非顧客に顧客でない理由を聞いた」これは、顧客以外の方に聞くという点がポイントであり、真のニーズを引き出すことです。

二つ目は「小さく始めて大きく育てていく」大きくやると、怖いので責任転嫁がおきます。「それならできるよ」というところから始めること。PDC を早く回転させるのも小さく始めたならばできますし、他への応用もしやすくなります。

三つ目は「バスは移動手段であり目的ではない」バスが目的になると、そのメリットばかりを宣伝したくなります。自分の事業は手段であり、手段に徹し、自社の事業以外の「目的」を提案することです。

四つ目は「知識は行動して初めて成果となる」学んだだけでは成果に繋がりません。行動して初めて成果になります。行動することが大切だということです。今は、行動しながら考えないと、スピード感で間に合わない時代になっているということです。

五つ目「新たな価値を創造して新商品の開発」今日お話しした十勝バスの取り組みは、いずれも事業予算をかけないでやって来ています。個別訪問はその典型です。

アナログでやって成果が出て、公的な資金をいただいてできる様になってきたというのが真相です。何を言いたいかと言いますと、十勝バスは厳しい経営環境にありましたので、自らに投資することがなかなかできない会社でした。しかしながら、新しい価値を生み出せれば、様々なやりたいことができる様になるのだ、こう思っております。

これを世の中では「イノベーション」と言います。自社で既に持っている在る物と在る物を組み合わせたり、組み直したり、向きを変えたりして組み合わせることで、新しい価値が生み出されるということは、新しい市場、新しい顧客が生まれるということであります。

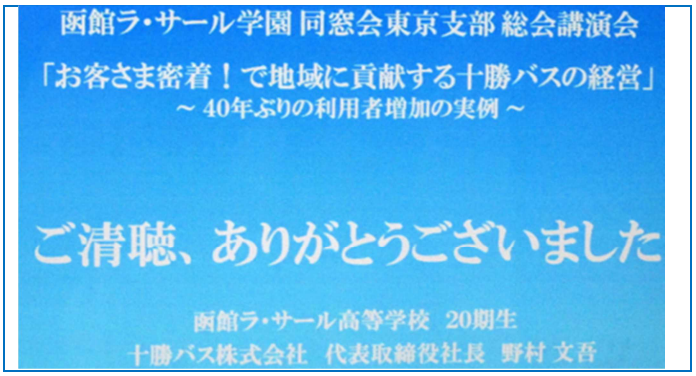
当社は、今まで乗っていただけていなかった方にたくさん乗っていただいたり、或いは、観光やビジネスのお客さまが、たくさん路線バスにお乗りいただけたので、コロナの直前までは 9 年連続で、前年対比プラスの実績を出していたところでした。

イノベーションを起こす際、最も重要なのは、主観と客観の一致なんです。我々は普段、主観で見ています。十勝バスは、何を求められているかということをよく考えずに経営していたために、うまくいかなかったと思っています。

人というのは、自分の事は自分が一番よくわかっていると思いがちですが、本当は、自分は自分のことをわかっていない。他の人に「こんな風に見えるよ」と言われたことの方が、得てして本当なのですが、人はなかなかそれを認めたがらない。

だからこそ、客観を重視して、それに自分の主観を一致させることにより、新たなイノベーションが起こるのだと、私は思っています。

これらの 5 つの原理原則は、すべてドラッガーが書籍で言っている原理原則です。私が考えたことではないということを、最後に付け加えさせていただいて、私の話を終わらせていただきたいと思います。



21 期 斉藤さんの質問

いろいろな業種で、自動化、無人化で進んできて、このコロナで更に加速していると思うのですが、そういった中で、我々人間は、職業人として何をしたらいいのでしょうか？何か、他の業界のヒントになる様なアドバイスがあればいただきたいのですが･･･

野村さんの回答

今、我々はコロナにより分断された世の中で、仕事をしたり生活をしたりしていると思うのですが、今まで以上に、他者に会う事の価値が高まっています。人に会う回数が減ったからこそ、お互いを感じる事が難しくなってきていると思うのです。

よって、人間力を上げるというか、人としてアナログ力をしっかり上げ、相手を感じる力を高めて、その上で IT、デジタルをどんどん駆使して、シナジーを生む必要性があるのじゃないかなと思います。

話の中でアナログとデジタルの融合という事を図を出しましたが、アナログの部分の力は、我々人間の力でしか高められません。

たとえば、新型コロナですが、AI 万能の様なことが、コロナの直前まで言われていましたよね。でも AI は新型コロナを全く解決できないところを見ると、将来的にはこの事例は解決できるのかもしれませんが、AI というかデジタルは新しいものは生み出せないということなんだと思うのです。ここは人間の役割ですから、是が非でもアナログ的な力を上げる必要があるんです。

人と言うのは、自分以外の人から刺激を受けて磨かれるものだと思っていますので、相手を感じる力を高めて、アナログ力を伸ばしていければと思っています。

今、当社の社員もその様に指導、教育をしてまして、随分と感度が上がってきていると感じております。

19 期 冨樫さんの質問

函館ラ・サールは今でもアナログな教育に力を入れていますが、当時の教育を思い出して、今、何が役に立っていると思われますか？

野村さんの回答

間違いなく、寮生活、あの団体生活で、人間の感覚を研ぎ澄ます世界に、当たり前の様にいたことが、私は非常に良かったと思っております。あの場に居なかったら、私は、今ほど、自分以外の人の気持ちをわかることは、なかったのでないかと思います。

あの中にはすべてが入っていた様な気が、私はします。けんかもありましたし、もの別れもありましたし、抱き合って喜んだこともありました。本当にいい経験をさせていただいたと思います。

ですから、無謀にも私の帯広の志望校への入学金を納めなかった父には、今では感謝しています。当時はうらみましたけどね（笑）人間力を高めることに、最も重要な学校だったと思いますし、親元を離れたということも、非常に、自立をする上でよかったと思います。そして、寮生活をすることで、人と人とのつながり、感じ方を、増す事ができた、と思っています。

IBAJINKAI 太田ネフロクリニック

理事長 酒井 伸一郎
（25 期）

医療法人社団茨腎会
〒313-0043 茨城県常陸太田市谷河原町字渋井 1-1660
TEL 0294-80-5031 FAX 0294-80-5032
https://www.nephroclinic.net

OB 講演から:　11 期　岩渕　雅俊

新型コロナの流行で家でパソコンを使って会議をする、連絡をとりあう、報告するということが、急激に増えた方がたくさんいらっしゃると思いますが、この記事が、そういう方々に「そうか、パソコンは裏ではこういうことをやっているのか！こういうことに注意しなきゃいけないんだな！」と言っていただける内容になっていることを、密かに期待しています。ムズカシすぎる•••という声が出る事も承知しています。そういうムズカシイことが、通信の世界では特にこの 30 年起こっているのです。

これは、かつてあった東京支部のホーム•ページに掲載された 2012.9.14 の東京支部での講演内容（要旨）に、その後の変化などを加味して、加筆したものです。ホーム•ページで掲載した頃は A4 で 2 枚でしたが、随分と長くなっています（笑）。それだけ、世界は日々進んでいます。

『インターネットを、怖がらずに使いこなす為の豆知識』

IT企業にお勤めの立場から、インターネット通信の基本知識と怖がらずに使いこなすために気をつけるべきことをお話しいただきました。本来は、相当に難しいテーマをわかりやすくご説明いただきました。
（2018/7/20 に急逝された 18 期、杉山伸朗さん（当時の東京支部事務局長）記）

昔は電話料金が高かった事もあり、携帯、スマホであれパソコンであれ、利用するとべら棒の料金をとられるのではないかという懸念をお持ちの方がいると思います。又、情報漏洩やセキュリティ被害の報道を聞く度に、自分は大丈夫かと心配される方が多いと思います。

今日は、携帯、スマホないしパソコンを使ってインターネットに接続した時、どういうこと事が行われているのか、その本質的なところのサワリをお話しいたしまして、懸念の一部でも払拭していただければと思っています。

どうやって情報通信をしているのか？

まず、そもそも、携帯、スマホないしパソコンは、どうやって情報通信をしているかという事から、お話しします。かなり細かいです。

ポイントは、携帯、スマホないしパソコンは電気で動くので「電流を流すか流さないか」により二者択一情報を伝えるのだという事です。二者択一を 2 回やれば四者択一に、3 回やれば八者択一という具合に、2 の累乗の情報を伝えることができます。

では、何を「通信」するのかという事ですが、誰でも考えるのは「文字情報」なわけで、電気を使った最初の通信である電報（テレックス）では「アルファベットと数字から成る文を、どうやって伝えるか？」ということが問題でした。その頃、生きていたわけではありませんが•••（笑）

いろいろ考えられた末（たぶん（笑））、テレックスではアルファベット、カタカナと数字各々を、0 か 1 かという情報（これを**ビット**と言います）を 8 個組み合わせて（これを**バイト**と言います）現すことにしました。

これはコンピュータ通信でも踏襲されています。ですから、この 2 つの用語は覚えておいてください。「ビット」と「バイト」です。

0 か 1 かと言う二者択一情報を 8 つですから、2 の 8 乗、つまり 256 の文字を表すことができます。アルファベットは大文字と小文字合わせて 52 文字、数字は 10 文字ですから十分現せますし、カタカナも含める事ができます。

こうして、8 つのビットが 1 か 0 かということを組み合わせてできる値を「文字コード」と言います。

現在、いろいろな文字コードが使われていますが、ルーツは英数の大文字、小文字を現すことができる ASCII と EBCDIC の 2 つです。

文字コード 1 つを送信するには、2 つの装置を対となった電線で結び、一定の短い期間、直流電流を流せば 1、流さなければ 0 だと決めておき、それを 8 回続けます。

2 つの機器の間が数メートルではきかないという場合は、電流が弱まり検知が難しくなりますので、対の電線に交流電流を流し、波形を変えるなどの手段により 0 と 1 を現します。

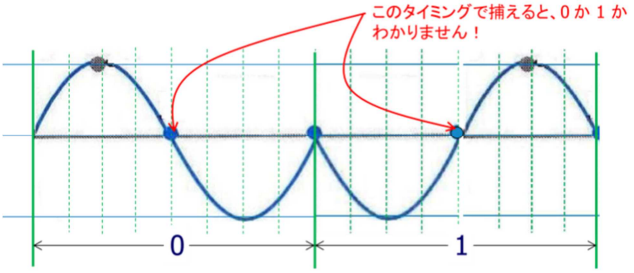
じゃぁ、無線の場合どうするかというと••••、フレミング左手の法則を思い出して下さい。電流の向きに応じて磁界の向きが変わることを利用して、送る側は交流電流を電磁波に変え、キャッチした側は電磁波を交流電流に変えます。

有線であれ無線であれ受ける側は、交流電流が変化することを検知して、1 なのか 0 なのかを判断します。

送った側が 1 を送っているのに 0 が送られて来たと受け止められては困りますし、逆に 0 が送られているのに 1 が送られて来たと受け止められては困ります。

「そんな馬鹿な！」と思われるでしょうが、接続するのは 2 つの別の機械であり、受信側は、対になった電線に信号が入って来るか来ないか、絶え間なく監視する訳ではないという事がポイントです。

絶え間なく入ってくる信号を、どこかのポイントで捕えて、それが 0 か 1 か判断するのです。ポイントがずれると正しく検知されません。



電流は光と同じく超高速であり、信号は直流電流を使って送られるにせよ、交流電流を使って送られるにせよ、送付されると同時に受け取られる様なイメージがありますが（私だけ？？？）、送信した信号は、全く同じ瞬間には受信されませんので、適格な受信ポイントを決めることは重要なのです。これをどう解決するか？

2 つの方式があり、その 1 つの「調歩式」では 1 文字あたり 8 ビットで現すとして、1 文字分（正確には 8 ビットの前にスタート•ビット、後ろにストップ•ビットを付けるので 10 ビットです）送ったら、若干の時間を置いて次の文字を送ります。これは転送速度を上げられない事、文字情報以外は送れないことから、現在では殆ど使われていません。

現在使われているのは、「何故そう呼ぶのか？」は後回しにして「同期式」と言うのですが、文字だけでなく漢字、絵や音を 0 と 1 の組み合わせで現わし（これがアナログ情報のデジタル化です）、ある程度まとまった長さのビットの列（**パケット**と言います）にして送ります。

長いビット列が連続して送られて来るので、ちょっとしたタイミングのずれがあると正確に受信できなくなります。

そこで送付側は、パケットを送る前に、言わば、捨て石となる長いビット列を送り、受信側はそれが届いている間に信号の受信タイミングを掴むのです。実はこれが「同期式」と言われる所以です。

同期式伝送の中でも「インターネット」で有線通信の事実上の標準になっているのは、DEC 社、Intel 社と Xerox 社が開発したイーサネットという方式です。

インターネットってそもそも何？

じゃぁ、インターネットってそもそも何という話ですが、何でしょう？ちゃんと知らないと、チコちゃんに「ボーとして生きてるんじゃねぇよ！」と、叱られちゃいますから、調べた情報をお伝えしますね。

1990 年頃（この頃、通信と言って意味するのは、電話とファクスでした）、世界中の国々の通信会社は、協力して、IETF（インターネット・エンジニアリング・タスクフォース）という国際団体（アメリカにあります）が推薦する方式により、利用者（パソコン・ユーザーなど）がパケットにしたビット列の値を交換するネットワークを構築し始めたのですが、この「世界中でパケットを交換するネットワーク」がインターネットです。

インターネットでは、パケットを送付する側も受ける側も IP アドレスという、「住所」の様な役割の数値を持たなければなりません。

IP アドレスの「IP」はインターネット・プロトコルの略。「プロトコル」は「パケットの中に、どういう情報をどういうレイアウトで入れるかということに関する規則で「通信規則」と訳されています。

パソコンの中には、有線のポートと無線（WiFi）のポート（筐体の中にあり、外から見えません）を持っている機種がありますし、インターネットでホーム・ページを提供している様なサーバー・コンピュータは、普通、幾つかの有線ポートを持っていますが、ポート毎に別の IP アドレスを持ちます。

パケットを送る際、情報（ビットの列であり「データ」と言います）の前に、IETF が推奨する（と言うか、従わなければ通信できない）レイアウトに従って、「どの IP アドレスを持った機器のポート宛なのか？」という事と「どの IP アドレスを持った機器のポートから出したのか？」ということを付ける決まりになっており、これらが付けられたパケットを **IP データグラム**と言います。

ノードのポートから出された IP データグラムは、ケーブル上を運ばれて、ケーブルの他端に届けられますが、そこにある「ルーター」という機器（コンピュータです）のポートに入ります。

ルーターは、ポートに入って来た IP データグラムの宛先 IP アドレスを見て、その IP アドレスを持った装置が自分に直結されているのであれば、IP データグラムをその装置が接続されているポートから出します。

その IP アドレスを持った装置が自分に直結されていないのであれば、宛先 IP アドレスを持った装置が接続されている他のルーターか、そういうルーターにより近い、別のルーターに IP データグラムを転送し、やがて宛先 IP アドレスを持った装置が直結されているルーターに IP データグラムが届きます。

これらのルーターを提供するのは、各国にある通信事業者です。インターネットとは、たくさんの通信事業社が持っている、たくさんの「ルーター」を網の目状に接続することによりできる、「IP データグラムを宛先 IP アドレスの装置から送付元 IP アドレスの装置に送る為のネットワーク」なのです。

IP データグラムはどう作られ、送り出されるのか？

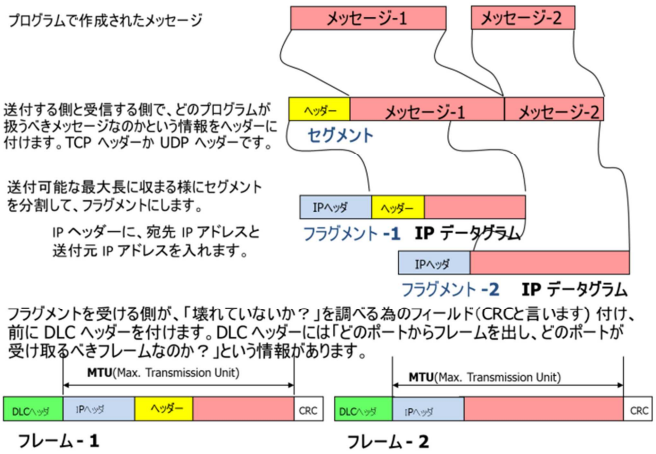
「ルーター」は「IP データグラムの転送に特化したコンピュータ」であり、実は結構ムズカシイことをやっているのですが、何をやっているのかを感じていただく為、IP データグラムがどうやって作られ、ネットワークに出されているのかについて、整理したいと思います。

パソコンやサーバー（これらを「ノード」と言います）でプログラムが作ったメッセージは、一旦、バッファー（半導体でできた、高速に読み書きできるメモリーです。簡単に言うと•••）に溜められます。

やがて、バッファーが一杯になった時などに、通信を制御するプログラム（TCP/IP という名前で呼ばれているプログラムです）は、その時点でバッファーにあるデータを取り出し、その前に「どのプログラムのデータなのか？」という情報が入ったヘッダーを付けて「セグメント」というビット情報の塊にします。

このヘッダーには、TCP ヘッダーと UDP ヘッダーの 2 種類があり、ホーム・ページをアクセスしている時には TCP ヘッダーが、IP 電話（ZOOM などを含みます）で音声や画像を送受信しているときは UDP ヘッダーが付けられます。

ところで、伝送できる IP データグラムの長さには制限（MTU（Max. Transmission Unit）と言います）がありますので、セグメントが MTU より大きい場合は分割して「フラグメント」にし、各々のフラグメントの前に宛先と送付元の IP アドレスを入れた「IP ヘッダー」を付けて IP データグラムにします。もちろん、ひっかからない場合はセグメントに「IP ヘッダー」を付けて IP データグラムにします。



この後、ポートのデバイス・ドライバー（ハードウェアと一緒に配付される制御プログラムです）が IP データグラムを受け取り、その前にイーサネットの DLC（データ・リンク・コントロール）ヘッダー、後ろに、受け取った側のエラー・チェックの為の CRC というフィールドを付けてフレームにしてから送り出します。

これを受け取った側は、受け取った情報（ビット列）について、数学的な処理をして、出した解が CRC と一致するかどうか調べます。この方法は魔法みたいな方法でして、ビット列中に 1 ビットだけ間違いがあっても、修正されるのです。

不一致の場合、つまり 2 ビット以上不一致があった場合にどうするかということですが、TCP ヘッダーが付いているのであれば、直ちに「通信エラー」にはせず、再送が試みられます。ですから送信時間が余計にかかり、何回かやっても駄目な場合は通信エラーにされます。これに対して UDP ヘッダーが付いているのであれば、再送は試みません。欠けた部分をどうするかについては、プログラムに任されます。

ZOOM などを使っていて、画像や音声が乱れる事があるでしょ？あれは UDP で通信していることに起因するのです。TCP を使っていたら、ちゃんとした画像や音声が届けられますが、出るタイミングが遅くなり「会話」どころではなくなってしまう事が、しばしば起こり得るのです。

IP アドレスに匿名性はあるの？

パソコンなどを使って、インターネットをアクセスして情報を入手しようとした場合、家にあるルーター（これを ISV がレンタル提供してく

れる場合と、各自が用意する場合があります）が、とりあえず家の中だけで有効なローカル IP アドレスをパソコンに付けてくれるのですが、その後、インターネットで有効なグローバル IP アドレスを、家のルーターが、契約しているインターネット接続サービス業者（ISP と言います）の機械（特殊なルーターです）に依頼して取得します。

実際にインターネットをアクセスする際、パソコンなどではローカル IP アドレスを「送付元！」として指定するのですが、それを家に置いたルーターがグローバル IP アドレスに変換してくれており、そのお陰で、アクセスしようとしているホーム•ページが、ちゃんとパソコンに返ってくるのです。

IP データグラムの内容は、宛先と送付元 IP アドレスを含め、宛先に到達するまで変わりませんので、送付元 IP アドレスから個人が特定できるのであれば「匿名性はない！」ということになりますが、パソコンについては匿名性は保たれます。

パソコンのグローバル IP アドレスは、家のルーターが ISP の機器から取得して、一時的に持つだけであり、パソコンがシャットダウンされるとリリースされて、別のユーザーのノードにアサインされるのです。アサインされたグローバル IP アドレスにより、パソコンなどが、どこに置いた ISP のどのルーターに接続されているのかということは分かりますが、分かるのはそれだけです。

これに対してスマホを、4G ネットワークか、携帯電話会社が運営している WiFi に接続した場合は、疑問詞が付きます。

4G ネットワークに接続されているスマホには、インターネット接続業者（ISP）の機器ではなく、4G ネットワークの先にある「ゲートウェイ」が、契約者番号および位置情報と関連させて、インターネット上でユニークなグローバル IP アドレスをアサインします。

4G ネットワークにスマホが IP データグラムを出すと、契約者番号と位置情報を内包した値が独自のヘッダーとして付けられてゲートウェイまで運ばれ、そこで IP データグラムが取り出されて、宛先 IP アドレスを持ったノードへの送付が始まるのです。

ゲートウェイは「契約者番号と位置情報を内包した値」とスマホに割り振ったグローバル IP アドレスの関係を押さえているので、グローバル IP アドレスから個人が特定できます。

契約者番号と電話番号は、契約した時にスマホないし携帯電話の中に店の人が装着した 12 mm x 15 mm の大きさの UICC（ユニバーサル統合回路カード）中にあります。携帯電話とスマホは、UICC を装着しないと使用できないのですが、この中です。

UICC を、日本では SIM カードないし USIM カードと言っています。「SIM ロック」という言葉を耳にしたことはありませんか？ 日本以外の国では、携帯電話機を携帯電話機のメーカーから買い、それに通信会社と契約して入手した UICC を挿入して使うという利用形態になっているのに対し、日本で UICC と携帯電話機は、携帯通信会社が自社ブランドで売っています。この為、携帯通信会社は、自社ブランドの携帯電話に他社の UICC（SIM カード）を装着しても動作しない様にしたケースがあり、これを SIM ロックと言うのです。

ひところ、日本の携帯電話をガラパゴス携帯と揶揄する人がいましたが、外国では UICC と携帯電話機が別に売られているのに対して、日本では一体にして売られていたという違いがあるだけで、日本が遅れていたということではありません。

「何故、スマホを使った場合、振られたグローバル IP アドレスにより個人が特的できる様になっているんだ！」と怒らないように（笑）。こうしないと、携帯電話会社は、通信パケットの量により課金することができませんからね。

スマホの匿名性

スマホを（携帯電話会社が提供している WiFi 以外の）WiFi に繋いでインターネットに入った場合は、パソコンを使って WiFi に接続した場合と同じであり、グローバル IP アドレスについてはパソコンと同じです。つまり匿名性があります。しかし、パソコンとは 1 つ異なる点があります。

スマホを使って 4G ネットワークからインターネットに入ろうが、WiFi を使ってインターネットに入ろうが、ホーム•ページのアクセスを行うと、要求の中に自動的に電話番号と契約者情報が入るのです。

契約者情報は、携帯電話会社や、携帯電話会社と提携している会社のサイトをどれだけ利用したのかにより回収代行を含め課金するためで、携帯電話会社にとっては必須の情報であるのに対し、電話番号は、要求を受けたサーバーが SMS（ショート•メッセージ•サービス）でメッセージを送ることができる様にするためです。

これを知っていると、自慢できる（かもしれない）ウンチクです。3G では、通話するべく相手の携帯電話の電話番号をダイヤルすると、相手の携帯電話に「電話だよ！」という呼び出し通知が行き、相手がそれに応じると、電磁波の一部（チャンネルと言います）を占有して通話をしました。この「呼び出し通知」を利用して、メッセージを運んだのが SMS です。4G からは別の仕組みで SMS が実装されており、それに伴い送付できるメッセージの長さ制限が、緩和されている様です。

スマホからホーム•ページの閲覧要求などを上げると、電話番号と契約者情報が、携帯電話会社と契約している企業かどうかとは無関係に、アクセスしたサイトを運営している会社（組織）のサーバーにも行きます。携帯電話会社とは縁がない会社（組織）にとっては、契約者番号を知ったところで何の得にもなりませんが、電話番号は伝わり、SMS でメッセージを送ることはできますし、電話をかけることもできます。

こう聞いて、思い当たることはありませんか？

ホーム•ページのアクセス要求の中に電話番号と契約者情報が入っているのは、3G（ちなみに 3G から日本の携帯電話は、国際標準に従った仕様になりました）からだと記憶するのですが、SMS の文面に、こちらの名前はないものの、あやしげなサイトから「登録されました！」という SMS メッセージが来て慌てた事はありませんか？

あれは、それ以前に、そのサイトに、スマホか携帯電話から、ホーム•ページ閲覧の要求を出したからなのです。たぶん••••

もし、今後、そういう眼にあったら、漏れてしまったのは携帯電話番号と、携帯電話会社との間で回収代行契約を結んでいる会社でなければ意味を持たない契約者番号だけだということを思い出して下さい。それ以外は漏れていません。そういう SMS メッセージが来たら、無視しなきゃだめです。下手に応答を返すと（真面目な人ほど「ちゃんとしなきゃ！」と言って応答しそうですね•••）、つきまとわれる可能性大です。

スマホ（携帯電話）を使う場合に心にとめておくべきこと

この様に携帯電話ないしスマホを使ってインターネットをアクセスすると、電話番号はどのサーバーにも筒抜けなのですから、怪しげなサーバーに携帯電話かスマホを使ってアクセスするのは、ボッタクリバーで豪遊したあげく、高い請求額に激怒して店を飛び出したはいいが、慌てて出た為、名刺を店に置いてきてしまったのと同じと心得てください。

パソコンを使う場合に心にとめておくべきこと

スマホ（携帯電話）とパソコンの決定的な違いは、モバイル•ネットワークに接続できるか否かにありますが、もう一つ、契約した携帯電話会社が提供する電話機能（パケットとは別に料金を請求されます）と SMS（ショート•メッセージ•サービス）をパソコンでは使えないという違いがあります。

スマホ（携帯電話）の場合、利用者が望んでいないのに、勝手

にメッセージが送り込まれることが多々ありますよね？こういうのをPUSHメッセージと言います。

「うそっ！」と思われるかもしれませんが、パソコンを使っている場合LINEやIP電話を利用している時を除き、ネットワークから情報がPUSHされてくることはないのです。

現在、Windowsパソコンを立ち上げると、天気や気温、それにニュースと言った「そんなの、俺は聞いてないぜ！」という類のメッセージがでてきますよね。あれは、Windowsパソコンを立ち上げると、「https://要求」と言うのがマイクロソフトのサイトサーバーに送られるのですが、それに対する応答なのです。証拠は掴んでいませんが（笑）。これはPUSHではありません。

例外はありますが、パソコンの使用者が要求していないのに、勝手にメッセージが送り込まれることは、IP電話やLINEなどを除き無いのであり「パソコンに、変なメッセージが勝手に入ってきた！」とは言えないのです。

インターネットを使う際、自分をどう守るか？

ようやく、皆さんが一番関心あるであろう所まで来ました。

インターネットは世界中の人が利用しているということは、残念ながら悪い輩も使っていて、いろいろ悪さをしているということでもあります。「悪さ」の中にはウィキペディアによれば、いろいろあるそうです。網羅的ではありませんが、ここに挙げます。

- ネットワーク上に流れている情報を盗聴（tapping-the wireと言います）する。
- 盗聴したパケットの内容から、どういう事が行なわれているのかを知って、たとえば「どうすればネットワークが混乱するか？」というヒントをそこから掴む、或いは、送受信している双方で何をやっているのか知って悪用する。これをsniffing attackと言います。
- 盗聴したデータを改竄するか、複製して送ると、受取る側には二重にデータが来ることになりますが（よってreplay attackと言います）、これより、たとえば銀行口座の預金が二重に引き出されるなどの被害を生じさせます。
- 意図的に、大量のパケットを、自分が関係していないかの様に装い、他人名義で大量に発することにより、それを処理するサーバーが処理しきれなくなり、正常に機能できなくすること。これをDoSアタック（Denial-of-Service）と言います。
- ユーザーID が伝聞、あるいは盗聴によりわかっている場合に、そのパスワードなどを、総当たりで試す事により見破る事。これを総当たり攻撃（Brute force attack）と言います。
- 本人になりすましてログインする。
- 不正なプログラムを、何等かの手段でユーザーに送り込み、それを使ってユーザーのコンピュータにダメージを与えるか、ユーザーを犯人にしたてて、サーバーの他のユーザーを攻撃する。

上記の最後の点について調べてみました。これから書く事は、アメリカのネットワーク機器メーカーがインターネットで公開している情報です。

「どうやって不正なプログラムがユーザーに送り込まれるのか？」という点ですが4つのケースがあります。

一つ目は、「不正なプログラムの一部」を、「ユーザーが意識しないうちに実行されることがあるプログラム」が入っているファイルか、そういうプログラムが参照するファイルに潜り込ませておき、そのファイルをダウンロードさせる、或いはUSBメモリーからコピーさせるという手口です。

ファイルに入り込まれた（感染させられた）不正なプログラムをウィルス（virus）と言います。

ウィルスに感染したファイルが（正規のファイルと看做されているため）実行されるか、感染されたファイルを参照するプログラムが実行されると、最初は何もしないらしいです。と言うのは、どういう事が起こったら（多くの場合、設定された日付＆時刻になったら）実行を開始するのかということをウィルスに潜り込ませてあるのだそうです。

やがて、実行条件が満たされると、ウィルスは活性化され、他のプログラムに入り込んで増殖します。この結果、無害なこともあるそうですが、設定データを消したりするのだとか•••。人間に対するCOVID-19の攻撃に似てますね。だから「ウィルス」と言うのですけど•••

ウィルスをどうやって駆除するかという事ですが、ファイルは属性データとして、何時更新されたのかという日付と時刻を持っていますので、これを比較してウィルスが入っているかどうかチェックできそうに思えます。しかし、ウィルスを作る輩は、ウィルスが入っていることをカモフラージュすべく、更新日付と時刻からはウィルスが入っていることがわからない様にしているらしいです。

じゃぁ、どうするか•••。ファイヤーウォールが完備した大企業の社内ネットワークに繋げば、ウィルスが感染しているファイルがインターネットから入って来る事を、かなり防ぐことはできますが、同じネットワーク上に犯人がいることだってあり得ます。防止するには、セキュリティ•ソフトを常時稼働させて、入って来るファイルをスキャンして、ウィルスだけを削除してもらうしかありません。

二つ目は、悪い事をするプログラム自体が入ったファイル（ウィルスと違いファイルが「悪い事をするプログラム（マルウェア）」で占められています）を、ソフトウェア製品の一部であるかの様に偽ってダウンロードさせる、或いはUSBメモリーからコピーさせるという手口です。

コンピュータに入り込むと、正規のソフトウェア製品の一部だと思われているので勝手に実行され、自体が増殖します。こういう種類の「悪い事をするプログラム」（ファイル）をワーム（worm）と言います。

三つ目は、悪い事をするプログラム自体が入ったファイルを、ユーザーにダウンロードさせる、或いはUSBメモリーからコピーさせるという手口です。

これは、ユーザーが（騙されて）実行するという点と、増殖はしないという点がワームとは違うのですが、こういう悪い事をするプログラム自体が入ったファイルをトロイの木馬（Trojan house）と言います。

幾つかのタイプがあり、バック•ドア型は、インターネットに繋がっているサーバーから指令が送られ、その指令に従って、ファイルを削除するとか、実行中のプログラムを止めるなどのことをします。パスワードを盗むパスワード窃盗型というのもあります。侵入したコンピューターの情報を、勝手に暗号化するランサムウェア（「解凍したければ、金を出せ！解凍するキーを教えてやる！」という悪者です）が、ニュースになりますが、この多くも、トロイの木馬だそうです。

四つ目も、トロイの木馬と同様、悪い事をするプログラム自体が入ったファイルを、ユーザーにダウンロードさせるか、或いはUSBメモリーからコピーさせるという手口ですが、トロイの木馬とは、少しばかり異なり、プログラムが（騙されて）実行されると、悪い事をするプログラムを送り込んだ所にあるコンピュータの傀儡になり（パソコンの中ではなく）インターネット上で悪さをします。この「悪い事をするプログラム」をボット（bot）と言います。語源は、なんとなくわかりますよね。ロボットのボットです。

ワーム、トロイの木馬とボットは、悪い事をするプログラムがそのま

まファイルになっているのであり、ウィルスの様に「知らないうちに感染」するのとは少々異なります。

と言うのは、ソフトウェア製品の中に盲点（脆弱性といいます）があって、或る名前のファイルは、本来、製品にとっては不要なのに、正規の製品と一緒にダウンロードされてしまうという場合があるのです。悪い輩はたぶん、それを知って悪い事をするのです。

これを防止するにはどうするか••••？パソコンを使っていると、よく「アップデートしてください！」というウィンドウが表示されたりするでしょ？まずは、それが本当の正規製品が出さているかどうか確認することは必要ですが、アップデートの中には、そういう脆弱性が見つかったことから作られた修正があるので、当ててください。これは、人間がかかるCOVID-19などの感染症に対する、ワクチン注射に似ていますね。

もしも「アップデートしてください！」というウィンドウ表示が、怪しいサーバーによるものであれば、ファイヤーウォール機能を持ったセキュリティ•ソフトが警告を出す••••筈ですが、警告が出なければ、識者に聞いて下さい。

識者がそばにいなければ、その製品を出している企業のホーム•ページを見て、そういうアップデートが公開されているか否か調べるという手があります。そういう余裕がない場合は、とりあえずアップデートしないのが賢明です。

ソフトウェアのアップデートは、機械が相手なので１回で済みます。次第に抗体の量が減る、なんてことはありませんから•••。そもそもソフトウェアのアップデートにより抗体がつくられるのではなく、原因となる部分が「切除」されるのです。

ただ、「悪い事をするプログラム」の型が変わっても、前の修正がある程度有効なんていうことはないので、別の修正になります。

過去に攻撃があったことに起因して、ソフトウェア製品の脆弱性が見つかるということはあるので、万全ではありませんが、「悪い事をするプログラム」の侵入を防ぐには、ちゃんとソフトウェア製品のアップデートをかけておくという事、アップデートの後は直ぐにスキャンを行って、以前は見つからなかったマルウェアがあれば排除してもらうという事が、まずは大切です。

「悪い事をするプログラム」かもしれないということをダウンロードの前に見破る方法

インターネット上で提供されているプログラムは、有益なプログラムであれマルウェアであれ、しばしば圧縮された形で提供されており、ダウンロードさせたい側は、ホーム•ページ中にダウンロード用のボタンを作っておきます。

ユーザーがそのホーム•ページを見て、プログラムをダウンロードしようと決め、ブラウザーの画面に表示されたボタンを押すと、通常、何回かダウンロードをしていいのかどうか、「あなたがダウンロードしろと言ったんだよ！」という証拠を残す為（笑）の確認メッセージが出てきて、それらに応えるとダウンロードが始まります。

この後、セキュリティ•ソフトが動いている場合、圧縮されているのであれば解凍され、できたファイルの内容がスキャンされます。セキュリティ•ソフトってこんなことをしているのです。

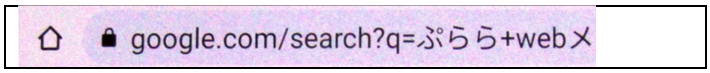
セキュリティ•ソフトは、ファイルがウィルスで汚染されているか、内容が、過去に世界で報告されている「悪い事をするプログラム」だった場合、警告を出すか、ダウンロードしたファイルないしウィルスを削除してくれます。

よって、セキュリティ•ソフトが動いていれば、一応は安心なのですが、未だ世界でも報告がされていない「悪い事をするプログラム」だった場合、警告程度は出るかもしれませんが、それにOKと応えるとダウンロードは完了し、圧縮されたファイルが解凍される際に、ワーム、トロイの木馬ないしボットの侵入を許してしまいます。

こういう眼に遭わない様にするには、どうしたらいいのか？結論を先に言います。

ホーム•ページを閲覧している時、画面の上にある文字列を見て下さい。この文字列が「https://」始まっているホーム•ページの中にある「ダウンロード」ボタンであれば、信頼がおけます。

スマホ（アンドロイド）では「どこにアクセスしているのか？」という情報が表示される場所（画面の最上段）に南京錠が閉じている絵（アイコン）が「https://」の代わりに出ます。



「見分けがつかないヨ？何が違うの？」という方々の為に、ちょっと説明します。

最近は、Google などが提供するホーム•ページに、キーワードを入れてアクセスすることが多いので、「えっ！」と思うかもしれませんが、ホーム•ページを閲覧するには、下記の例の様な指定（これをURI（ユニバーサル•リソース ID）と言います）をするのであり、Google などを使った場合は、ユーザーがタイプした値からURIを探してくれるのです。

URI はユニバーサル•リソース ID の略で、下記の構造になっており、IP アドレスが直接か間接に入っています。

http	://www.example.com	/path/to/file.html
スキーム	IP アドレスとプログラムを識別する値か、それに代わるドメイン名	閲覧するページが収められたファイルに関する情報

ホーム•ページがサーバーから寄せられると、同様の値がブラウザーの一番上に表示されますが、http://と指定したのにhttps://に変わっていることがあります。

http://**www.example.com**/over/there
https://**www.example.com**/over/there

この例で「example.com」というのはホーム•ページを提供しているサーバーの IP アドレスに対応した値であり、その後の/over/thereは、そのサーバーのどのフォルダーにホーム•ページがあるのかという情報です。

最初の「www」は、「ホーム•ページのアクセスだよ！」と相手に伝える為のキーワードで、その前の「http://」ないし「https://」は「http（ハイパー•テキスト•トランスファー•プロトコル）という IETF で決めた規則に従って、データのやりとりをします！」という意味です。

「https://」は「http://」と何が違うかという点ですが、いずれも「どういう方式でホーム•ページを取得するのか？」という指定であり、スキームと言います。どちらも、最終的にはホーム•ページの取得要求を上げるのですが、「https://」という指定の場合、ホーム•ページの取得にかかる前に、ホーム•ページを公開しているサイトは、自分の「デジタル証明書」と言うファイルを送らなければなりません。

尚、「http://」と指定したもののサーバーで「https://」と指定が変えられる事もあり、この場合も「デジタル証明書」が送られて来ます。

デジタル証明書とは、インターネットの世界の「身分証明書」であり、そのサイトが由緒正しいサイトであることを保証する組織が作って電子的（数学的）にサインをしたファイルです。

サイトから送られてきたデジタル証明書は、「勝手に送って来や

がった！」ファイルなので、その内容が信じるに足るか否かを確かめる必要があります。

実は、この検証をインターネット・ブラウザーは自動的にやってくれるのです。そのデジタル証明書が、サイトで勝手に作った証明書か、有効期限が過ぎた証明書であると、インターネット・ブラウザーは警告のメッセージを出します。

デジタル証明書を数学的に要約した値を、証明書を発行した組織が持っている「秘密キー」で暗号化した値がサインになのですが、インターネット・ヴラウザーは、証明書を発行した」組織のデジタル証明書を入手して、その中に入っている「公開キー」を使って復号します。復号してできた値と、デジタル証明書を数学的に要約した値が合致すれば、「サインは本物だ！」です。

証明書を発行した組織のデジタル証明書が正しいものかどうかについても判断が必要ですが、これについてもインターネット・ブラウザーは、自動的にそのデジタル証明書を発行した組織のデジタル証明書を入手します。証明書を発行する組織はピラミッド構造になっており、インターネット・ヴラウザーは、未知の組織であれば、場合によりルーツまで辿るのです。

公式のデジタル証明書を発行してもらっていないサイトは「https://」というスキームが指定された要求を受けた場合、私的なデジタル証明書を相手に渡すことはできますが、デジタル証明書がサイトで勝手に作った証明書か、有効期限が過ぎた証明書であると、警告のメッセージが出ますので、ここでボロがでます。

扨って、公式のデジタル証明書を持っていないサイトは、スキームとして「http://」を指定してもらわざるを得ないのです。こうすると警告は出ませんから•••。でも、ユーザーにとってみると警告が出ないからこそ、要注意なのです。必ず URI が「https://」で始まっていることを確かめてください。

時々、「本物そっくりの、偽のホーム・ページがあるので注意せよ！」という情報が流れてくることがありますが、ホーム・ページの閲覧中にブラウザーの最上段に表示される URI の先頭が「https://」となっていなければ偽ものである可能性があります。

加えて URI の先頭が「https://」になっているページであれば、交わされるメッセージは暗号化されるのに対し、URI の先頭が「http://」になっているページでは、交わされるメッセージは暗号化されませんので、個人情報を入力してはいけませんし、ダウンロードのボタンを押してはいけません。

「https://」になっているページの中でも SMS やブログは、契約している個人の代わりに運営企業がデジタル証明書を取得の上で、「http://」で始まるページを出しているだけなので、気安く情報を入れてはいけません。SMS やブログは、書き込みする側の情報の保護という面では、「http://」で始まるページと同じ（つまり無防備）だと考えてください。

話を元に戻しましょう。デジタル証明書が送られてきていないのにダウンロード・ボタンを押してしまった場合、セキュリティ・ソフトは（たぶん•••）警告を上げます。それを無視してダウンロードすると、既知の「悪い事をするプログラム」などであればセキュリティ・ソフト中のファイルのチェックして、無毒化してくれますが、新手の「悪い事をするプログラム」などであれば、そのチェックをすり抜けてしまうかもしれません。

条件反射でボタンをクリックしてしまった、個人情報を入力してしまったという場合、有線でインターネットに接続しているのであれば、ケーブルを抜いてください。無線であれば Ctrl+alt+Delete キーを同時に押して、パソコンをシャットダウンしてください。スマホの場合は、シャットダウンです。

フィッシング（Phishing）被害に遭わないために

次に、2010 年ころから増えた、フィッシングについてお話します。メールやホーム・ページにハイパーリンク（下線がある文字列）があり、そこをクリックすると、あやしいサイトの偽のホーム・ページ、ないし意図したホーム・ページとは全く関係がないページが現れることがあります。

実は、ホーム・ページ上でハイパーリンクになっている箇所の裏に、本当に使われる URI が隠れており、ハイパーリンクで見える URI（文字列の事も多々あります）とは異なっている事があるのです。

「ハイパーリンクをクリックすると、どの URI にアクセスが行くのか？」ということは、パソコンであれば、ブラウザー或いはメール・ソフトの機能を使って「ソース表示」すると（その箇所を探すのが簡単ではないものの）わかります。画面で下記に表示されていて、指示通りにハイパーリンクをクリックしたとしてみましょう。

```
下記をクリックしてください！
https://www.tadashii.site/over/there
Good Job!
```

ひょっとして、とんでもないサイトのホーム・ページが現われるかもしれません。何故かと言うと、ハイパーリンクとして表示されている文字列は、この例では URI の形になっていますが、ソースが下記の様になっているとすると、実際に要求が飛ぶ先は、別の URI（下記の href=に注目してください）なのです。

```
<p>下記をクリックしてください！</p>
<a href="http://x.x.x.x/bots/this>
  https://www.tadashii.site/over/there
</a>
<p>Good Job!</p>
```

こういう手法で、悪いサイトにユーザーを導いて個人情報などを盗むことをフィッシングと言い、そういうサイトをフィッシング・サイトと言います。

フィッシング被害に会わない様にするには、ハイパーテキストは、無闇にクリックしないことです。

> https でアクセスしているホーム・ページ上のハイパーテキストであれば、クリックしても概ね大丈夫ですが、最近のホーム・ページでは、広告があります。広告各々は、実は URI が全く別で、実際の URI が何なのかについてはソースを見ないと分かりません。一応、メインのホーム・ページを提供している企業と提携してはいるのですが、統制まではされていない可能性はあります。

では、ハイパーテキストをクリックする代わりにどうするかという事ですが、組織名などを、Google などの信頼が置けるサーチ・エンジンに入力して、自分でアクセスするのです。そして、URI が https://で始まっていることを確かめてください。

メールでファイルの名前が.html か.htm で終わっているファイルを送りつけるといういタイプのフィッシング（と言うのかどうか、知りませんが•••）もあります。名前が.html か.htm で終わっているファイルを開くと、インターネット・ブラウザーが動き、そのファイルの内容を解釈して、たとえば本物そっくりログイン画面などを出すのです。

これも URI は https://では始まっていませんが、http://でもありません。URI は「file:」などで始まっているのです。

もし、フィッシング・サイトにひっかかってしまったらどうするか？何も入力していないのであれば、ブラウザーのウィンドウの右隅の x をクリックしてブラウザーを止めるのです。

もし、なんらかの情報を入れてしまったら、たとえばクレジット・カードの情報を入れてしまったら、たとえマウスをクリックはしていなくても、すぐに、クレジット会社に連絡して、カードを無効にしないとだめです。パスワードを入れたなら、直ちにそのパスワードを無効にしてくださ

い。実被害に遭うか遭わないかは、時間との勝負なのです。

まとめ

この文書を読んでいただいた皆さんが、「セキュリティ犯罪に気を付けてください！」という、テレビなどで耳にするアドバイスに「何を、どう気を付けろと言うんだよ！」と切れる事が、少しであっても無くなる••••と期待して、筆をおく事にします。

1 期　　吉 田 淳 志

吉田淳志税理士事務所
税理士

〒040-0034　函館市大森町１０番１５号
TEL(0138)26-8108　FAX(0138)26-3263
e-mail：amo@clever.co.jp

世界の子供たちに学ぶ機会を！学ぶ喜びを！

認定NPO法人
LSスコラ育英基金（略称 SCOLA）
理事長 宇野哲人（6期）

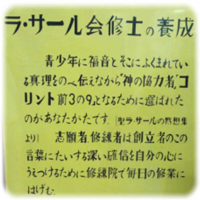
SCOLAは南北のラ・サール同窓生が立ち上げた育英基金です
主に同窓生の皆さまからの募金で運営されています！
募金は寄付金控除の対象となり、所得税等が軽減されます

詳細はHPをご覧ください：
http://scola.web.fc2.com/index.html/

1 期　　藤田 勝司

株式会社　相互保険事務所
代表取締役

〒040-0073 北海道函館市宮前町24番6号
TEL.0138-45-9598 FAX.0138-48-9599



保険のご相談はお任せ下さい

生保２７社、損保１５社取り扱い
新規加入、見直し、資産運用、相続対策等

（株）グッドウィン
岡田　利雄（７期）

携帯　０９０－９１３５－５４６８
E-mail　t-okada@palette.plala.or.jp

12 期　佐藤 友康

かすみ園 代表

函館ラ・サール学園同窓会函館支部長
〒042-0942 北海道函館市柏木町10番6号
TEL.0138-51-2303 FAX.0138-51-2396
E-mail: kasumien@k2.dion.ne.jp

20 期　川口 孝徳

株式会社　今 井 工 務 店
代表取締役社長

〒041-0824 北海道函館市西桔梗町849番地の22
TEL.0138-48-5544 FAX.0138-48-7080
E-mail: t-kawaguti@imai-koumuten.co.jp

50 期　松川 勝弘

株式会社 大協防災 取締役

〒041-0835 北海道函館市東山3-1-18
TEL.0138-55-2288 FAX.0138-55-2289
E-mail: daikyo-b@ms7.ncv.ne.jp

函12期

再会を楽しみにしています
函館ラ･サール１２期同期会（アガペーの会）

12期幹事：中富清和･若狭寿人
12期連絡窓口：及川信一（oikawa-s@aruhan.gr.jp）

皆さん、良かったら連絡ください。

函12期　中富 清和

フランス「哲学評論」（PUF）に紹介！
Nothingness and Love of Japanese Philosophy
LAMBERT Academic Publishing Germany

https://knakatomi.academia.edu/research
E-mail: k-nakatomi@gc4.so-net.ne.jp

母校の存続、発展を切に祈って、
同窓として何が出来るかを、地味でも一歩ずつ…。

第19期 同期会会長　同窓会理事 同窓会札幌支部副支部長

大 山 慎 介

㈱北海道田舎プロデュース 代表
ラジオパーソナリティ

大山慎介　みんなの北海道2100　で検索

連絡先　ohyama@inakapro.jp

南と北のハーモニーをご一緒に

ラ･サール グリークラブ

- 南北のラ・サールグリークラブOBを中心に2021年に結成
- スペシャルコンサートの開催、両校の同窓会東京支部総会での校歌、学園歌の演奏、教会でのクリスマスコンサート、自治会夏祭りでの演奏など多彩な活動を展開
- ポピュラーソング、民謡から本格的な男声合唱組曲まで幅広いジャンルをレパートリーとしています

ご連絡・ご質問は lasalleglee@gmail.com まで

支部だより

コロナ渦の 3 年、函館ラ•サール同窓会はどうしていたのか、広報の呼びかけに応答いただいた内容を掲載します。尚、北の支部から南の支部の順で掲載しています。

札幌支部だより

支部長（本部副会長） 11 期 二木一重

ようやくコロナ禍からいろいろな制約がほぼなくなり通常の生活が戻ってきたようです。札幌も観光客が戻りはじめ街中は賑わいを取り戻しています。

2019 年 9 月に札幌支部総会•懇親会を開催してから支部の活動は停滞を余儀なくされ、必要最小限の支部運営は少人数での役員会、幹事会で進められました。

2020 年、2021 年は総会を休止し、2022 年ようやくコロナ禍の中ではあるものの感染対策のうえ、開催にこぎつけました。その総会で同窓会本部の役員改選の動きに合わせて、札幌支部も役員改選の承認を得て新たな体制となったところです。

長年ご尽力いただいた 7 期の宮永雅己氏に代わり、11期の不肖二木が新支部長を仰せつかり、また、副支部長兼事務局長には15期津島氏と 19 期大山氏に就任いただき、その他事務局次長として若手の方々で新体制を構成することとなりました。

停滞した活動の中でも大山副支部長のご尽力により、南幌町との連携による「ふるさと納税を活用した母校への募金活動」が展開されました。ご協力いただいた同窓生の皆様に感謝いたします。

札幌支部は、毎年 9 月の第一土曜日を支部総会及び懇親会開催と定め実施しております。今年は、9 月 2 日札幌東急 REI ホテルにて開催いたします。皆さんの参加お待ちしております。

函館支部 「はやり病に振り回されて」

12 期 佐藤友康（本部副会長）記

2019.08.24:函館支部総会を普通に開催。

2020.01.31:同窓会入会式をおっかなびっくり開催。

2020.02.19:次年度支部総会のための第二回準備委員会をそっと開く。

2020.07.28:準備委員会をラ•サール館にて開催。まだ支部総会を開こうとしている。この時期は校舎への立ち入りを断られた。

2021.06.28:支部総会のための準備委員会を開催。まだ学校に入れてもらえない。こんな時、52 期の金井大旺さんがオリンピック出場すると噂が出た。本当だった。慌てて校舎の近くに応援の看板を学園と協力して立てた。

2021.11.15:支部総会のための準備委員会を、やっと学校の中の教室で開催。害毒が少な目であると、学校に認められる。

2022 年中は準備委員会を重ねた。
講演会の講師にオリンピアンである金井さんにお願い。快諾を得た。前の年に応援看板を作っておいて良かったと思う。

2022.10.22:3 年ぶりの支部総会開催。
講演会の前に金井さんと握手をした。オリンピアンと握手をするのはこれが最初で最後だと思った。
久しぶりの支部総会だったため、世間話に花が咲き懇親会の開始が遅れた。

ラ•サール館の話

- 昔の校舎の事務室と職員室を曳家で移築したもの。
- 学園祭の時に母の会の本部として活用されます。

そもそも、近年の学園祭を知らない同窓生へ

- 学園祭では校舎の前庭で、ＰＴＡ各支部が各地の名産品のようなものを売ります。
- 弁当のようなもの、麺類、ほか各支部のアイデアあふれるグッズなどを販売します。
- 函館支部も同窓会グッズなどを販売しましたが、ＰＴＡ各支部の押し売りの波に飲み込まれてしまうのです。近年は参加していません。（2018 年まで参加）
- その元締めが、市内の母たちで構成される母の会です。
- 学園祭が始まる前は、母がこのラ•サール館に夜遅くまでこもり、父はほったらかしにされ、生徒と父は毎日コンビニ弁当で暮らしたという事です。

東北支部報告　2023-7-14

文責 23 期 齋野朝幸、6 期 伊藤恒敏

概要

東北支部は残念ながら 2019 年 10 月の支部総会を、台風の仙台直撃で急遽、中止にした時以来、4 年間も支部総会を開催できていない状況が続いている。2023 年の今年こそは支部総会を開催すべく、2023 年初め頃から準備を始めた。

2019 年 10 月 12 日台風 19 号の直撃

例年通りの支部総会（2019 年 10 月 12 日土曜日、第 14 回［通算（東北支部と名称変更をする以前からの通算の支部総会開催回数）第 24 回］）の開催を予定していたが、令和元年東日本台風（台風第 19 号）がにわかに宮城県、仙台市等を直撃する様相になり、東北支部としては、支部総会を中止せざるを得なくなった。浅井支部長と二人で参加者に急遽、10 月 11 日夕方以降に支部総会開催中止を告げる電話をかけて了承してもらった。この台風では特に宮城県南に位置する阿武隈川沿いの「丸森町」に大きな洪水被害がもたらされ、犠牲者も出た。会場として予約していたホテルにも迷惑をかける結果となった（ホテルからは天変地異によるものだからということでキャンセル料は免除していただいた；ありがたかった）。

2020 年

2020 年になると 2 月はじめの札幌雪まつりを契機に新型コロナウイルス感染症が日本にも広がる気配を見せ、とうとう 4 月 16 日には緊急事態宣言が全国に向け発せられ、日本全体が人の往来のない状況となった。当時のウイルスはまだまだ致死率が高く、支部としてもとても役員会さえ持てない状況だった。何回かの Online での役員会での協議で、この年の支部総会は中止となった。

2021-2022 年

東北支部は役員がかなり高齢化している。以前から、役員の交代を図り若返らせなければならない、と役員ほぼ全員の希望ではあったが、それが思うように実現できないでモタモタしているうちに、新型コロナによる「行動制限」がかかってしまい、その呪縛から逃れることができない 3 年間を過ごしてしまう結果となった。

この間、なんとか、Online 会議等で役員会の意思の疎通を図り、2022 年までは支部総会の開催が困難だということで、2021 年も 2022 年も東北支部の会員に向けては、はなはだ残念ではあったが、支部総会の開催案内ではなく、開催を見送ることになったという連絡を続けた。ただ、その郵送による連絡の際には必ず、東北

支部会費納入のお願いおよび仙台のラ•サールホームに対する寄附のお願いの払込用紙を送り、東北支部の多くの会員から温かい援助をいただいた。ラ•サールホームへの寄附については同窓会誌の寄附の報告の記事*を参照していただきたい。

*編集者より
上記「同窓会誌の寄付の報告の記事」は、後日発行いたします冊子版（会員向けのプライベート版）の「日吉の丘」に掲載を予定しています。冊子版を、どうすれば入手できるのかについては、函館ラ•サール学園 OB 各位宛に郵送いたします案内をご覧ください。

一部の人事の交代

同窓会の理事体制の刷新に連動して 2022 年に（本部）同窓会の体制が一新された。東北支部から出て務めていた伊藤（本部）事務局長が退任し、齋野朝幸が理事として新たに働くことになった。

2023 年

今年 2023 年はわれわれ東北支部も例年（といっても 5 年ぶりになるのだが）開催していた支部総会を、念願の、対面での形式で、開催する計画である。2023 年 10 月 14 日土曜日、例年通りのホテルで、例年通り17 時から開催予定である。現在、役員会で詳細を詰めているところである。役員がさらに高齢化した上、5 年ぶりの開催なので、段取りを失念しているところも多々あるが、なんとか開催までには整理したい。なによりも、感染状況が少し不気味である。5 類移行以後、約 2 ヵ月で感染者数がほぼ倍増となっているので、その状況を注視しながら、準備を進めたいと思っているところである。来年の同窓会誌には、しばらくぶりで開催した支部総会の報告ができれば嬉しいと思っている。

東京支部

東京支部•広報 11 期 岩渕雅俊

メールにあるログから活動を体感していただけるかもしれない内容を、抽出しました。

2020.1.18 新成人を祝う会を開催。（東横線 学芸大学にある山田秀樹さん（31 期）の店）
2020.1.24 月例会（2019 年度の 10 回目）（新富区民館）
2020.2.18 （当時の）林完自支部長（14 期）が東京支部のメーリング•リストにて、当面の活動についてアナウンス。
2020.3.27 月例会は割愛し、京橋区民館で総会の案内袋詰め作業を行ないました。終了後の懇親会は中止。感染防止対策を講じた上で作業を行ないました。石川医師（20 期）が消毒用アルコールなどを持参され、感染対策に気を配り、作業を行いました。

東京支部では、毎年、総会案内の資料、支部の広報誌を「袋詰め作業日」までに、配送する数用意し、作業を行う場所に近い宅配業者のオフィスで保管していただき、それをタクシーなどで輸送し、封筒への袋詰めと、印刷した宛名（事務局でプリントして用意）を貼り付ける作業を、実行委員会のメンバーと OB 有志が集って行っています。毎年、おっさん或いはジジィになった OB が集ってやるのですが、雰囲気は生徒会室での手作業••••です。

2020.4.16 林完自支部長（当時）が東京支部のメーリング•リストにて、以降の活動についてアナウンス。4 月の月例会は中止。
2020.5.11 （当時の）多田哲郎事務局長（15 期）発で、東京支部のメーリング•リストに総会の中止をアナウンス。
2020.12.22 月例会を ZOOM 開催。

東京支部の月例会は、役員であるか否かに拘らない、肩が凝らない会になっており、COVID-19 の感染が拡がる以前は、毎回、10-20 人が集っていました。

2021.5 総会（x1 期が実行委員会）を ZOOM で行うことになり、実行委員会が郵送すると同時に、函館ラ•サール学園同窓会のホーム•ページにて案内を載せていただきました。
2021.5.29 支部総会のテストを兼ねて、オインライン講演会実施。

大渕修一さん
東京都健康長寿医療センター研究所 高齢者健康増進事業支援室研究部長
「筋力とバランス／健康長寿の決め手はこれだ！」

2021.6.12 オンライン総会開催:新支部長:冨樫雄一（19 期）ら新役員スタート！講演（本号に、講演内容を筆記し、野村さんに校正いただいた内容を掲載しています）

20 期 野村文吾さん
十勝バス株式会社 代表取締役社長
「地域との絆を深めながら進めた会社の復活と新しい価値づくり」

2021.11.5 新役員による、初の（ZOOM による）役員会を開催。
2021.12.17 対面による例会（京橋区民館）を計画していていましたが、オミクロン株流行により延期。
2022.1.21 オンラインによる例会を 1/21 に予定（29 期 原田さん（東京オリンピックに関係された）の講演）するも、講演者とスタッフは対面する必要があり、オミクロン株流行のため中止。
2022.2.20 オンライン役員会開催
2022.3.31 PTA と共同でオリンピックに出場された 52 期 金井さんへの OB インタビューの動画完成し、それと 29 期の原田さんの講演を含む例会をオンラインで企画。各自視聴。
2022.6.11 オンラインによる総会（OB グリー、自衛隊 32 期倉知康平さん）
2022.7.24 静岡にて、20 期の管敏之さん（2020 年の中止となった支部同窓会実行委員長で 2021.7.24 急逝）を偲ぶ会（ご家族が、函館 LS と北大 OB の為に企画されました）に有志が参加。
2022.10.9 オンライン月例会
2022.11.21 1 月ほど前より、新人歓迎会を企画中（29 期 佐久間高広さん）だったところ、コロナのため中止を決定。
2022.12.22 ハイブリッド月例会@Hana*東京 B
2023.2.27 総会案内をオンライン配信。
2023.6.17 八景島にて 4 年振りに外部会場で開催。若い OB 家族の参加があり、暑い一日を楽しく過ごしました。八景島のイルカ•ショーとグリークラブのコラボ企画、野外バーベキューでの OB によるジャズ演奏があり、盛会になりました。

西日本支部再起動

広報 9 期 諸戸樹一
文責:支部長 12 期 山本真司

ついに、ようやく、やっと、何とか第 22 回の西日本支部総会•懇親会を開催することができました。2022 年 10 月 15 日（土）、USJ のオフィシャルホテル、ホテル京阪ユニバーサル•タワーに、1期生から 58 期生までの総勢で 37 名の参加を得て、3 年ぶりの会合を無事盛会裏に終えることができました。

今回は、依然としてコロナ禍にあることを考慮し、支部恒例の「追悼の集い」も「ミニ講演会／演奏会」も、「準公式の二次会」も省いた、「総会」と「写真撮影」と「懇親会」のみの簡素な集まりを企画していました。

総会は予定通り17 時に加藤恭司役員（21期）の司会で始まり、先ず学園からご参加のフェルミン•マルチネス理事長に開会のご挨拶をいただきました。続いて山本真司支部長（12 期）より、コロナ禍で一度も総会開催ができなかった 2020 年から当日までの「活動報告」と、丸木智役員（8 期）の監査を経た「会計報告」、そし

て支部役員の紹介が行われ、それぞれ承認されました。加えて支部長よりは、案内状の郵送枚数と不達枚数などの報告があり、出欠の如何に関わらず返信葉書の投函が訴えられました。

また、総会時には、浜田哲也氏（17 期）より、2021 年 7 月に世界遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」に属する「垣ノ島遺跡」についてリーフレットの配布と来函見学のアピールがありました。1 期生の竹内伝史氏よりは、ラ・サール学園（鹿児島）12 期生と共筆刊行の「下駄とチャンポン」2022-2 号の紹介と希望者への配布が行われました。

ホテル中央階段において恒例の集合記念写真を撮影後、18 時からは 4 階ファンタジーホールにて懇親会を開催しました。宮本雄大役員（30 期）の司会進行により、ご来賓のラ・サール学園同窓会大阪支部の西岡健太郎様、札幌支部副支部長の大山慎介様（19 期）、函館支部事務局長の森川雅浩様（30 期）、東京支部支部長の富樫雄一様（10 期）にご挨拶をいただいた後、竹内伝史氏の乾杯の音頭で開始しました。今回の会食は感染症対策のためビュッフェではなく、各テーブルへの個別配膳で行われました。懇談の合間には、PTA 関西支部の支部長山下隆之様、会友田渕光代様からご挨拶をいただいたほか、無料招待の現役学生5名をはじめ、初参加の同窓生から近況の報告などをしていただきました。また、ラグビー部 OB の工藤大輔役員（35 期）よりはラグビー場人工芝化のへの寄付金集めが行われ、第 22 回西日本支部総会参加者一同からの寄付が行われることになりました。

閉会の言葉の代わる寺島晴明氏（1期）の美声をお聞かせいただいた後、寺島氏と大久保道男氏（16 期）の先唱により学生歌 “It's a Long Way”と校歌を斉唱して締めました。

諸事情により今回参加できなかった皆様には、今年度の総会懇親会へのご参加いただきますよう願っております。また出欠の如何に関わらずぜひ返信ハガキをご投函ください。

追記:支部役員会を定期的に開催しています。支部地域在住 OB と保護者の方々を含めて拡大役員会と称しております。「どなたでもご参集くださるように」と願っております。

定例会は下記で開催しています。お気軽に支部長アドレス（yshinji@sunny.ocn.ne.jp）にご連絡下されば詳細をお知らせいたします。

ヤマダモンゴル道頓堀店（マトンともやしにベルのたれ）
大阪市中央区西心斎橋 2 丁目 4-8
電話 06-6212-2135

函館ラ・サール学園同窓会 西日本支部 第22回総会 2022(令和4)年10月15日(土) ホテル京阪ユニバーサル・タワー

西日本支部からの重要なお知らせ！

【2023 年西日本支部総会・懇親会 会場を変更しますのでご留意ください】

日時:2023 年 10 月 14 日（土）午後 4 時から午後 8 時（総会、講演会と懇親会）

会場:ニューミュンヘン南大使館
https://newmunchen-minamitaishikan.gorp.jp/
大阪市中央区難波千日前 12-35 SWING ヨシモトビル 2F
電話:050-5492-8141
会費:5,000 円

アクセス:地下鉄御堂筋線 なんば駅 徒歩 2 分
南海本線 難波駅 徒歩 5 分
近鉄難波線 大阪難波駅 徒歩 5 分
阪神なんば線 大阪難波駅 徒歩 5 分
地下鉄千日前線 日本橋駅 徒歩 5 分
近鉄難波線 近鉄日本橋駅 徒歩 5 分
JR 難波駅 徒歩 10 分

「日吉の丘」Vol.19 & 20 合併号（オインライン版）
2023.9.1
原稿をお寄せいただいた方々、収集に尽力されたかた方々、名刺広告に広告にご協力いただいた方々、そして、私ども皆の精神的ルーツである、聖ラ・サールに感謝の意を表します。
函館ラ・サール学園同窓会広報
岩渕（11）、大山（19）、森川（30）、山口（34）